

第6次東浦町総合計画

第1期基本計画 総括評価報告書

2023年11月

東浦町

目次

第1章 評価の概要	4
1 評価の目的	4
2 評価の内容	4
(1) 取組の成果指標の達成度	4
(2) 住民意識調査	4
(3) 第1期基本計画総括評価	4
第2章 取組の成果指標の達成度	5
1 評価方法	5
2 評価結果	5
第3章 住民意識調査	9
1 調査概要	9
2 調査結果	9
第4章 第1期基本計画総括評価	11
1 総評	11
施策の方向1 いつでもいきいきと暮らせる健康づくり	11
施策の方向2 人を育み、人を活かすまちづくり	11
施策の方向3 暮らしを守るまちづくり	11
施策の方向4 生活・産業を支える基盤づくり	11
施策の方向5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり	12
2 施策別総括評価シート	13
施策別総括シートの見方	13
施策の方向1 いつでもいきいきと暮らせる健康づくり	15
(1) 健康	15
①健康づくり	15
(2) 社会福祉	17
①地域福祉	17
②高齢者福祉	19
③障がい者(児)福祉	21
④児童・母子・父子福祉	23
施策の方向2 人を育み、人を活かすまちづくり	25
(1) 次世代育成	25
①子ども支援	25
②学校教育	27
(2) 生涯学習	29

①生涯学習	29
②スポーツ振興	31
③文化振興	33
施策の方向3 暮らしを守るまちづくり	35
(1) 環境	35
①地球温暖化防止・廃棄物	35
②自然環境保全	37
(2) 安心安全	39
①河川・治水	39
②防災	41
③消防・救急	43
④交通安全・防犯	45
施策の方向4 生活・産業を支える基盤づくり	47
(1) 基盤整備	47
①市街地・住宅・景観	47
②公園・緑地	49
③道路	51
④公共交通	53
⑤上下水道	55
(2) 産業振興	57
①農業振興	57
②工業振興	59
③商業振興	61
④観光振興	63
施策の方向5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり	65
(1) 地域活動	65
①地域活動	65
②情報共有	67
③共生	69
(2) 行財政運営	71
①行政運営	71
②財政運営	73
③連携協力	75
④公共施設マネジメント	77
第5章 参考資料（施策別総括評価一覧表）	79

第1章 評価の概要

1 評価の目的

東浦町では、2019年3月に20年後の東浦町を見据えた第6次東浦町総合計画基本構想を策定し、「つくる つながる ささえあう 幸せと絆を実感できるまち 東浦」の実現をめざしています。第1期基本計画は、この基本構想に基づき、中長期的な視点に立ったまちづくりを総合的・戦略的に推進するため、2019年度から2023年度までの5年を計画期間として策定しました。第1期基本計画の中では「5つの施策の方向」「32の施策」が掲げられており、施策の進捗管理は、行政評価（施策評価・事務事業評価）を毎年度実施^{*}することで自己点検をしています。

第2期基本計画の策定にあたっては、行政評価に加え、第1期基本計画の最終年に施策の目標を実現するための取組が成果を上げているか、多面的な検証・評価を行い、第1期基本計画の課題や改善事項を整理する必要があることから、総括的な評価を実施します。

【第6次東浦町総合計画の進行管理】

西暦	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
基本構想	基本構想 2019年度～2038年度 20年							
基本計画	第1期基本計画 5年				第2期基本計画 5年			
基本計画総括評価 (計画最終年)					実施			
行政評価 (毎年)	実施	中止 [*]	実施	実施	実施	実施	実施	実施

※2019年度実施事業分に関しては新型コロナウイルス感染症への対応のため中止しました。

2 評価の内容

(1) 取組の成果指標の達成度

毎年度実施している行政評価（施策評価・事務事業評価）を振り返り、取組の成果指標の状況を明らかにします。

(2) 住民意識調査

住民意識調査により、住民ニーズや各施策、取組に対する満足度・重要度等を把握し分析をすることで、住民目線での行政の課題や施策への評価を明らかにします。

(3) 第1期基本計画総括評価

取組の成果指標の状況や住民意識調査により把握した、住民ニーズや各施策、取組に対する満足度・重要度を踏まえ、施策の成果と課題を整理し、今後の方針を明らかにします。

第2章 取組の成果指標の達成度

第6次東浦町総合計画第1期基本計画の取組の成果指標の達成度を評価した結果、次のとおりとなりました。

1 評価方法

各施策の成果指標についての達成率^{※1}を算出し、5点（◎）：達成率100%以上、4点（○）：達成率80%以上100%未満、3点（△）：達成率60%以上80%未満、2点（×）：達成率60%未満と点数化しました。

施策ごとに平均点を算出し、A：平均4.5点以上、B：平均3.5点以上4.5点未満、C：平均2.5点以上3.5点未満、D：平均2.5点未満で評価しました。

※1 目標値を100%としたときに直近の実績値がどれだけ達成できているかを表します。

【達成率計算式】増加・維持の目標『直近の実績値／目標値』

削減の目標『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』

分母（目標値）が0の場合は『解なし』とし、進捗率^{※2}で点数化しています。

※2 達成率の補足として、目標値に対しての進み具合や遅れ具合を表しています。設定した目標値や基準値によっては数値が大きくなる（小さくなる）ことがあるため【参考】としています。

【進捗率計算式】『(直近の実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値)』

分母（目標値 - 基準値）が0の場合は、『解なし』としています。

2 評価結果

施策体系			取組の成果指標	達成率 ^{※1}		評価	【参考】 進捗率 ^{※2}
方向	項	施策					
1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり	(1)	①健康づくり	特定保健指導終了率	108.3%	◎	B	347.6%
			メタボ該当率	76.8%	△		-377.8%
			特定健診受診率	81.3%	○		-346.2%
	(2)	①地域福祉	ボランティア等登録団体数	119.0%	◎	A	195.0%
			居場所の拠点数	103.3%	◎		110.0%
		②高齢者福祉	認知症サポーター養成講座受講者延べ人数	98.0%	○	B	96.4%
			「老人憩の家」の利用者延べ人数	71.6%	△		-390.5%
	③障がい者 (児)福祉	グループホーム利用者数	96.3%	○	A	86.7%	
		就労支援系サービス利用日数	139.1%	◎		2456.1%	
		施設入所者の地域生活への移行者数	133.3%	◎		150.0%	
		「地域活動支援センター事業」の実利用者数	633.3%	◎		6500.0%	
	④児童・母子・ 父子福祉	1年以上継続してひとり親手当を受給している未就 労者数	40.0%	×	D	52.0%	
		児童虐待件数 【目標値0のため進捗率で点数化】	解なし	×		30.0%	

施策体系			取組の成果指標	達成率		評価	【参考】 進捗率※2	
方向	項	施策						
2 人を育み、 人を活かすまちづくり	(1) 次 世 代 育 成	①子ども支援	ファミリーサポートセンター会員数		98.5%	○	B	76.2%
			ファミリーサポートセンター利用者数		167.1%	◎		-4300.0%
			利用者支援専門員の配置数		60.0%	△		60.0%
		②学校教育	不登校児童生徒の割合		-11.6%	×	C	492.6%
			支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率		82.4%	○		-12.8%
			学校給食の地産地消率		92.0%	○		42.9%
	(2) 生 涯 学 習	①生涯学習	新規教室・講座参加者率		102.7%	◎	B	114.0%
			中央図書館の来館者数		70.4%	△		-13292.6%
		②スポーツ振 興	小学5年生の体力テストにおける総合 評価（5段階評価）AとBの割合	男子	62.0%	△	C	-512.9%
				女子	54.9%	×		-856.0%
			高齢者への体力テストの実施人数		2.7%	×		-216.5%
			町スポーツ協会（旧体育協会）の競技団体登録者数		79.7%	△		-387.8%
			学校開放延利用者数		97.6%	○		-3120.0%
		③文化振興	文化協会の会員数		72.6%	△	C	解なし
郷土資料館の来館者数			68.3%	△	-143.8%			
東浦ふるさとガイド協会の会員数			87.5%	○	-400.0%			
3 暮らしを守るまちづくり	(1) 環 境	①地球温暖化 防止・廃棄物	一人一日あたりの家庭系ごみの量		90.7%	○	B	61.5%
			リサイクル率		94.1%	○		31.6%
		②自然環境保 全	里山の保全活動に参加する年間延べ人数		123.4%	◎	A	277.7%
			BOD環境基準達成率（河川）		92.3%	○		74.3%
	(2) 安 心 安 全	①河川・治水	公共下水道雨水整備率		92.0%	○	B	25.4%
			雨水貯留浸透施設設置補助金の年間件数		60.0%	△		-100.0%
			耐震性を有するため池数		94.7%	○		66.7%
		②防災	同報無線の設置世帯率		91.9%	○	B	-8.8%
			防災リーダー研修受講者数		74.0%	△		35.2%
			備蓄品の充足率		95.3%	○		64.7%
		③消防・救急	救命講習会などの受講者数		45.4%	×	C	-522.8%
			自主防災訓練回数		38.9%	×		-29.4%
			消防水利の充足率		99.5%	○		70.6%
		④交通安全・ 防犯	交通事故発生件数(人身事故)		92.1%	○	B	80.4%
			侵入盗認知件数		126.7%	◎		142.1%
防犯ボランティア登録者数			84.8%	○	47.0%			

施策体系			取組の成果指標	達成率		評価	【参考】 進捗率※2
方向	項	施策					
4 生活・産業支える基盤づくり	(1) 基盤整備	①市街地・住宅・景観	市街化区域内の都市的土地利用率	実績値 なし	-	C	実績値 なし
			鉄道駅・バス停の徒歩圏人口カバー率	100.1%	◎		102.9%
			景観重点地区設定数	0.0%	×		0.0%
			空き家の利活用件数	40.0%	×		40.0%
		②公園・緑地	協働による維持管理を実施している公園数	320.0%	◎	A	320.0%
			住民一人あたりの公園面積	98.8%	○		66.7%
		③道路	都市計画道路の整備率	96.7%	○	A	0.0%
			幅員4m未満道路の改良延長	100.5%	◎		148.6%
			橋梁（きょうりょう）の修繕対策実施率	100.0%	◎		100.0%
		④公共交通	町運行バス「う・ら・ら」利用者数	78.8%	△	C	-28.1%
	⑤上下水道	水道管の耐震化率	100.8%	◎	A	106.1%	
		下水道普及率	104.2%	◎		418.2%	
		水洗化率	103.6%	◎		188.2%	
	(2) 産業振興	①農業振興	新規就農者年間人数（累計）	200.0%	◎	A	600.0%
			遊休農地面積	106.7%	◎		300.0%
		②工業振興	製造業の事業所数	82.9%	○	B	-20.0%
			製造業の従業者数	94.1%	○		58.4%
		③商業振興	卸売業、小売業の事業所数	99.3%	○	A	0.0%
			卸売業、小売業の従業者数	121.1%	◎		2909.5%
		④観光振興	於大まつり来場者数	35.3%	×	C	-175.0%
観光協会ホームページ年間アクセス数			78.3%	△	31.6%		
5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり	(1) 地域活動	①地域活動	行政の行う事業に連携して活動する目的型組織の団体数	108.0%	◎	A	220.0%
			アダプトプログラムの登録団体数	114.3%	◎		220.0%
		②情報共有	ホームページの年間アクセス数	202.3%	◎	A	2181.5%
			町民の声（住民懇談会の参加者を含む）の年間受信件数	98.3%	○		66.7%
		③共生	日本語教室の平均参加者数	80.0%	○	B	40.0%
	各種委員会の女性委員比率		70.0%	△	-27.7%		
	(2) 行	①行政運営	総合計画の進行管理のために設定した指標の達成割合	34.0%	×	D	34.0%

財政運営	②財政運営	経常収支比率	100.5%	◎	A	90.5%
		実質公債費比率	203.3%	◎		-93.8%
	③連携協力	相互利用が可能な他市町村の公共施設数	95.0%	○	A	14.3%
		連携・協力の協定を締結する大学との連携延べ事業数	130.0%	◎		160.0%
	④公共施設マネジメント	公共施設（建物）の延床面積	98.9%	○	B	解なし

合計	A	B	C	D
32 (100%※)	12 (37.5%)	11 (34.4%)	7 (21.9%)	2 (6.3%)

※構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にはなりません。

第3章 住民意識調査

1 調査概要

調査対象者	東浦町在住の16歳以上の男女（無作為抽出）
調査期間	2022年6月6日から6月30日まで
配布数	4,000票郵送配布
回収数	1,708票郵送・インターネット回収（有効回収率42.7%）
調査項目	あなた（回答者）自身のことについて 暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度について 身近な不便や不安について 将来のまちについて 今後のまちづくりに望むものについて まちづくりに関するご提案について

2 調査結果

全調査結果は、2022年12月に公表しています。

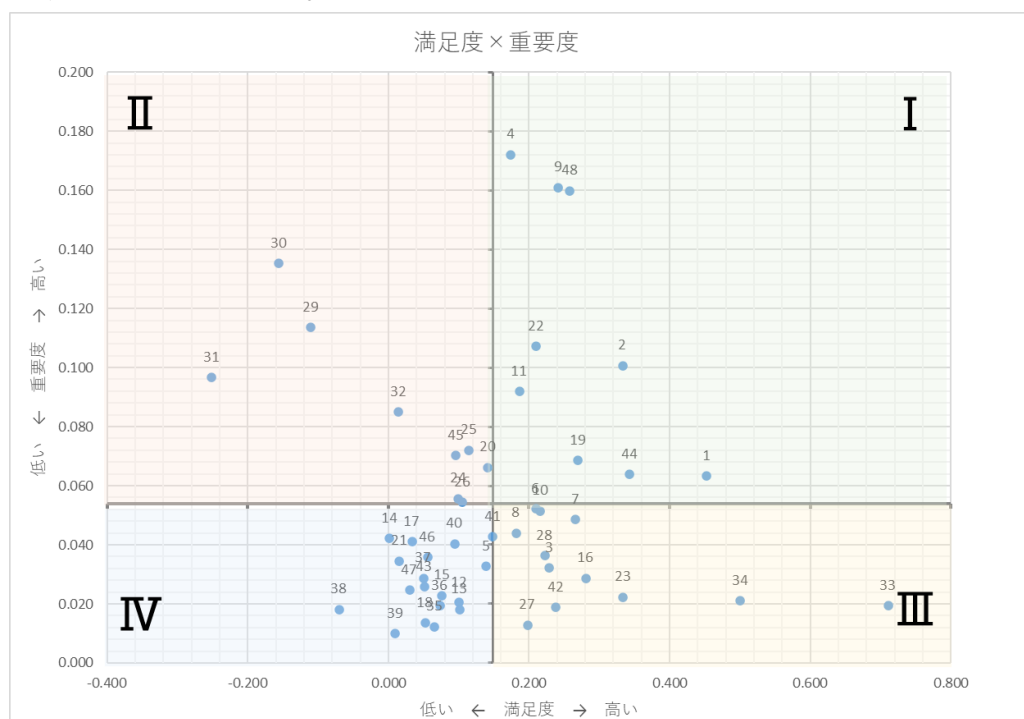
【住民意識調査／東浦町ホームページ】

<https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/soshiki/kikakuseisaku/kikakuseisaku/gyomu/keikaku/dai6jihigaahiratyousougoukeikaku/10491.html>



3 分析

「暮らしの満足度」と「今後のまちづくりの重要度」により散布図を作成し、以下の4つ区分けを行いました。



満足度は、各項目の回答を「満足」：2点、「やや満足」：1点、「どちらともいえない」：0点、「やや不満」：-1点、「不満」：-2点として加重平均により求めました。

重要度は、回答者に今後のまちづくりにあたって特に重要と思われる項目を3つ選んでいただき、「各項目の回答数／住民意識調査回収数」で指数化しました。

太線の軸は平均値（満足度：0.149、重要度：0.054）となっています。

満足度の評価方法について、「どちらともいえない」を意味する0点より高いか低いかに注目する絶対的評価と、指数の平均値より高いか低いかに注目する相対的評価がありますが、町全体の施策を比較し優先順位の視点をもって検証するべく、相対的評価を行いました。

相対的評価のため、満足度・重要度が低いと評価した項目が必ずしも絶対的に満足度・重要度が低いということの意味するものではありません。

II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。

住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。

【項目】

- 20 里山など自然環境保全
- 24 交通安全対策
- 25 防犯対策
- 26 住宅・宅地・市街地整備
- 29 幹線道路の整備
- 30 生活道路の整備
- 31 歩行環境の整備
- 32 公共交通機関、町運行バス
- 45 健全な財政運営

I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。

住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。

【項目】

- 1 健康づくり・疾病対策
- 2 保健施設・医療機関等の整備
- 4 高齢者福祉施策
- 9 子育てに対する支援
- 11 小中学校の教育環境
- 19 ごみ減量化・リサイクル活動
- 22 防災等の安全なまちづくり
- 44 役場の窓口など行政サービス
- 48 日常生活の便利度

IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。

住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。

【項目】

- 5 障がい者福祉施策
- 12 青少年健全育成
- 13 生涯学習
- 14 スポーツ施設整備
- 15 文化振興
- 17 地球温暖化防止施策
- 18 公害対策
- 21 河川・ため池等の水辺環境
- 35 農業振興対策
- 36 工業振興対策
- 37 商業振興対策
- 38 観光振興対策
- 39 勤労者福祉・消費者生活対策
- 40 行政と協働したまちづくり
- 41 地域コミュニティ・住民参加活動
- 43 国際化、外国人に対する取り組み
- 46 近隣市町との広域連携
- 47 情報通信技術を活用したサービス

III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。

施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。

【項目】

- 3 地域福祉施策
- 6 児童・母子・父子福祉施策
- 7 健康保険制度
- 8 福祉医療施策
- 10 保育園など児童施設の整備
- 16 図書館など社会教育施設の充実
- 23 消防・救急対策
- 27 緒川駅東地区の開発
- 28 公園・緑地の整備
- 33 水の安定供給
- 34 下水処理
- 42 ホームページ・情報公開の充実度

第4章 第1期基本計画総括評価

1 総評

施策の方向1 いつもでもいきいきと暮らせる健康づくり

(1) 施策の主な成果

健康の分野においては、第2期東浦町いきいき健康プラン21に基づく健康づくりや医療体制の充実等により、全世代を対象とした取組を進めています。

社会福祉の分野においては、認知症サポーター養成講座を実施するなど地域で支え合う協働の取組により、高齢世帯等が、孤立感や不安感を抱くことなく、必要な時に必要な支援が受けられる環境づくりを進めています。

(2) 今後の課題

高齢化社会の進展を見据えた国の制度改正や多様化する福祉ニーズを踏まえつつ、適切な情報発信や主体的な活動の支援、関係機関等の連携・ネットワークづくりなど、更なる健康づくりのまちの実現に向けた取組が必要です。

施策の方向2 人を育み、人を活かすまちづくり

(1) 施策の主な成果

次世代育成の分野においては、子育て世代包括支援センターによる子ども支援や学校生活支援員の増員や学習用タブレットの配布など教育環境・教育の質の向上を通じて子どもの成長を重視した取組を進めています。

生涯学習の分野においては、コロナ禍により文化活動やスポーツ活動に参加・参画する機会が減少しましたが、一方で、図書館では指定管理者制度や電子書籍の導入などの新たな取組を進めています。

(2) 今後の課題

少子・高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化、今後の社会経済情勢の変化を踏まえつつ、住民への積極的な情報発信を行いながら、更なる子ども自身の育み「子育て」を重視した取組や生涯を通じて文化やスポーツに親しめる環境づくりが必要です。

施策の方向3 暮らしを守るまちづくり

(1) 施策の主な成果

環境の分野においては、里山保全活動による住民の環境意識の醸成を始め、2019年度からの家庭系可燃ごみ処理有料化などにより、地球にやさしい環境を推進するまちづくりが進められています。

安心安全の分野においては、防災倉庫の整備による災害に強いまちづくりや防犯・交通安全の啓発、道路反射鏡・交通安全灯の整備による日常生活の安心安全のまちづくりが進められています。

(2) 今後の課題

より一層の環境意識を醸成し、協働による地球にやさしい環境づくりが必要です。また、自然災害の頻発・激甚化などの全国同様の課題に対し、「自助・互助・共助・公助」のそれぞれが災害対応力を高め連携する必要があります。

施策の方向4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 施策の主な成果

基盤整備の分野においては、緒川天白地区の土地区画整理事業による道路等の基盤施設の整備や三丁公園の整備などにより、良好な生活環境づくりの取組を進めています。

産業振興の分野においては、農地の保全・活用との調整を図りながら東浦知多 IC 周辺の企業誘致など東浦町の恵まれた立地を活かした産業振興の取組を進めています。

(2) 今後の課題

緑化や良好な景観形成に向けた住民意識の醸成に取り組むとともに、東浦町都市計画マスタープラン等に基づく土地利用誘導、公園の適切な整備・維持管理、ライフラインとなる水の安定供給など、更なる快適な生活環境づくりが必要です。

農業従事者の高齢化や担い手不足などの全国的な課題に対応しながら、将来にわたって農地の保全・活用との調整を図り、更なる商工業の活性化など、まちの活力を創出する取組が必要です。

施策の方向5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(1) 施策の主な成果

地域の課題を協力して解決するアダプトプログラムなど、地域を維持する・つなぐ仕組みづくりを進めました。

行財政運営については、行政評価により、各施策、各事業の内容を詳細に評価することで事業の見直し、改善を進めています。また、老朽化しつつある公共施設の長寿命化や更新に向けて、住民アンケート、講演会やワークショップなどの住民参画による公共施設マネジメントを進めています。

(2) 今後の課題

少子・高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化等、社会経済情勢の変化等を踏まえた地域コミュニティの形成と、愛着の持てるまちづくり、住民参画と協働によるまちづくりに対する更なる取組が必要です。

引き続きPDCAサイクルに基づく行財政運営を進めるとともに、少子・高齢化の進展による社会保障費の増加や、公共施設の長寿命化や更新など、今後、予想される大規模な歳出に対応できる持続可能な行財政運営が必要です。

2 施策別総括評価シート

施策別総括評価シートの見方

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

施策の方向を記載しています。

(1) 健康	①健康づくり	施策名を記載しています。	評価
目標	子どもが		B
概要	第6次総合計画第1期基本計画で定めた「目標」、「概要」、「取組」を記載しています。		
●子どもの	図ります。		
●妊娠や子育ての不安、孤立感を抱かせないように、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を進めます。	向けての事業展開を		
取組	健康づくり活動の推進 病気の予防・早期発見・重症化予防の推進 母子保健の充実	点数化した達成率の平均値を算出し、 A：平均4.5点以上、 B：平均3.5点以上4.5点未満、 C：平均2.5点以上3.5点未満、 D：平均2.5点未満で評価します。	

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※
		2017	2019	2020	2021	2022	2023			
特定保健指導終了率	%	99.4	99.6	99.4			99.5	↑	101.4%	◎
メ									77.3%	△
特									83.7%	○

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

第6次総合計画第1期基本計画の進捗を定性的に評価するために、施策や取組による住民意識への影響を調査した結果を記載しています。

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
1 健康づくり・疾病対策	0.453	44.6%	46.5%	4.2%	0.063	I
2 保健施設・医療機関等の整備	0.333	45.3%	42.2%	-4.7%	0.101	I
7 健康保険制度	0.266	32.2%	32.6%	-0.7%	0.049	III

※満足度×重要度

「満足」：2点、「やや満足」：1点、
「どちらともいえない」：0点「やや
不満」：-1点、「不満」：-2点とし
て加重平均により求めました。

「(2022年の満足・やや満足の割合/
2017年の満足・やや満足の割合) -
1」で求めています。

なお、満足・やや満足の割合は小数
第2位を四捨五入して表示しているた
め、満足変化率の計が一致しない場合
があります。

特に重要と思われる項目を3つ選
んでいただき、「各項目の回答数
/住民意識調査回収数」で指数化
しました。

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>施策の担当課が 200文字程度で記載します。</p> <p>第6次総合計画第1期基本計画の開始から現在までの取組状況のうち、成果が出た内容等について、施策の担当課及び関係課が評価を記載しています。</p>
課 題	<p>施策の担当課が 200文字程度で記載します。</p> <p>第6次総合計画第1期基本計画の開始から現在までの取組状況のうち、課題や懸念事項の内容等について、施策の担当課及び関係課が評価を記載しています。</p>
今 後 の 方 針	<p>施策の担当課が250文字程度で記載します。</p> <p>「成果」や「課題」を踏まえ、今後の方針や取り組むべき内容について、施策の担当課及び関係課が評価を記載しています。</p>

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(1) 健康	①健康づくり	評価
目標 子どもから大人まで住民の健康意識を高めます		B
概要 ●子どもの頃から健康への意識を高め行動へつなげることができるよう、全年代に向けての事業展開を図ります。 ●妊娠や子育ての不安、孤立感を抱かせないように、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を進めます。		
取組 健康づくり活動の推進 病気の予防・早期発見・重症化予防の推進 母子保健の充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
特定保健指導終了率	%	60.4	68.6	63.4	67.7	-	62.5	↗	108.3%	◎	
メタボ該当率	%	19.4	19.2	22.7	22.8	-	18.5	↘	76.8%	△	
特定健診受診率	%	59.4	55.3	51.9	50.4	-	62.0	↗	81.3%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
1 健康づくり・疾病対策	0.453	44.6%	46.5%	4.2%	0.063	I				
2 保健施設・医療機関等の整備	0.333	45.3%	43.2%	-4.7%	0.101	I				
7 健康保険制度	0.266	32.8%	32.6%	-0.7%	0.049	III				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>特定保健指導の終了率については、住民が来所しやすい日時を確認し、可能な限り保健指導を受診しやすい環境を整えるなどの工夫を行ったため、増加につながりました。</p>
課 題	<p>特定健診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したと考えられますが、病気の早期発見や重症化予防の推進に向け、保健指導の終了率向上及び受診率向上につながる対策が必要です。</p>
今 後 の 方 針	<p>2023 (R5) 年度から、高齢者の保健事業を国民健康保険の保健事業及び介護予防の取組と一体的に実施する「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」を、ふくし課、保険医療課と連携して実施し、生活習慣病重症化に関する早期把握・早期対応や、フレイル状態の早期把握・悪化防止に取り組めます。</p>

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(2) 社会福祉	①地域福祉	評価
目標 みんなが笑顔で支え合う地域をつくります		A
概要 ●一人の課題はみんなの課題として捉えられるよう、住民の意識改革と地域づくりを進めます。		
取組 地域福祉活動の促進 地域福祉推進体制の充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
ボランティア等登録団体数	団体	80	83	86	102	119	100	↑	119.0%	◎	
居場所の拠点数	箇所	20	26	27	27	31	30	↑	103.3%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
3 地域福祉施策	0.229	28.2%	28.2%	0.2%	0.032	Ⅲ
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>福祉センターの運営やコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置により、福祉情報の発信や居場所の提供、アウトリーチによる相談支援を実施し、必要としている方と支援やサービスとをつなぐことができました。</p> <p>第2次東浦町地域福祉計画を策定し、地域福祉を推進するための施策に取り組みました。</p>
課 題	<p>時間の経過や状況の変化により、困難事例につながりかねない状態にあるにも関わらず、本人や家族は支援の必要性を認識していない事例があるため、支援方法について検討する必要があります。</p> <p>また、育児、介護、困窮といった問題を複合的に抱える世帯に対し、関係機関同士が連携して支援していく必要があります。</p>
今 後 の 方 針	<p>第2次東浦町地域福祉計画で定めた重点プロジェクトを推進し、地域福祉に対する意識醸成を図ります。</p> <p>コミュニティソーシャルワーカー（CSW）によるアウトリーチ支援を実施し、支援の必要性を認識していない世帯に対する働きかけを行います。</p> <p>複合的な課題を抱える世帯に対し、関係機関同士が連携して支援するため、重層的支援体制整備事業を実施します。</p>

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(2) 社会福祉	②高齢者福祉	評価
目標 高齢者がいきいきと活躍し、安心して暮らせるまちをつくります		B
概要 ●高齢者が自ら介護予防に取り組み、元気な高齢者が地域で活躍できるまちをつくります。 ●住民が地域活動の担い手となり、地域ぐるみで高齢者を支え合える仕組みづくりを進めます。		
取組 生活支援体制の充実 生きがいくくりと社会参加の促進 介護に対する取組の充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
認知症サポーター養成講座受講者延べ人数	人	5,433	8,426	9,590	10,443	11,899	12,137	↑	98.0%	○	
「老人憩の家」の利用者延べ人数	人	36,688	31,710	11,099	17,151	27,874	38,945	↑	71.6%	△	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
4 高齢者福祉施策	0.174	26.8%	25.2%	-5.7%	0.172	I
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成果	<p>東浦町認知症にやさしいまちづくり推進条例を制定し、町内小中学校や事業者に対する認知症サポーター養成講座を実施する等、認知症への理解を広めることができました。</p> <p>また、老人憩の家の利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少傾向にありましたが、制限の緩和などにより回復傾向にあります。</p>
課題	<p>高齢者へのサービスの充実だけでなく、高齢者自身が役割を持って自分らしく地域で暮らしていけるような取組が必要です。</p> <p>老人憩の家の老朽化が進んでおり、計画的な修繕等が必要であり、一般開放事業を知らない住民のための効果的な周知方法の検討が必要です。</p>
今後の方針	<p>生活支援コーディネーター、就労的活動支援コーディネーター、認知症地域支援推進員が、高齢者と地域活動のつなぎ等を行い、高齢者の自分らしい暮らしを支援します。</p> <p>老人憩の家等における一般開放事業について、広く地域住民へ啓発することで利用を促進し、多世代交流の場としての施設利用を図ります。</p>

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(2) 社会福祉	③障がい者（児）福祉	評価
目標 障がい者が自立し、地域でともに暮らせるまちをつくります		A
概要 ●障がいのある人とない人が「受け手」と「支え手」に分かれるのではなく、地域、暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことのできる地域共生社会の実現を目指します。		
取組 社会参加の促進 障がい者支援のサービス提供体制の充実 地域生活支援の充実 障がい者の健康保持		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
グループホーム利用者数	人	39	45	49	49	52	54	↑	96.3%	○	
就労支援系サービス利用日数	日	22,422	26,277	27,924	29,348	31,706	22,800	↑	139.1%	◎	
施設入所者の地域生活への移行者数	人	1	3	4	6	4	3	↑	133.3%	◎	
「地域活動支援センター事業」の実利用者数	人	11	78	78	75	76	12	↑	633.3%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
5 障がい者福祉施策	0.139	18.5%	19.1%	3.4%	0.033	Ⅳ				
8 福祉医療施策	0.181	23.7%	22.7%	-4.3%	0.044	Ⅲ				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>障害児福祉サービス利用者のセルフプラン解消のため、児童発達支援事業通所時に、相談支援専門員につなぐことで、児童及び家族の相談支援体制を整備しました。</p> <p>障害福祉サービスの対象となる身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、難病患者等に対し、サービスの充実を図るとともに、障がいの区分に応じたサービスを提供できました。</p> <p>相談支援事業は、夜間相談も含め、24時間365日の相談支援体制をとることで、安心して地域で暮らす体制ができています。</p>
課 題	<p>知的障がいや発達障がいの子どもの増加に伴い、放課後等デイサービスを必要とする利用者が増えており、町内外の通所事業所を利用していますが、強度行動障害がある子ども等が必要な療育を受けられないことが懸念されます。</p> <p>相談支援専門員が不足しており、資格要件となる専門職も不足していることから、相談支援専門員の人材育成や確保が難しくなっています。</p> <p>今後、障がいの重度化、高齢化により、障害福祉サービスの利用が増加すると予測されます。</p>
今 後 の 方 針	<p>児童発達支援センターが2023年5月に開所となり、町内事業所との連携により、切れ目のない相談支援体制の整備が重要となります。</p> <p>地域包括ケアシステムの構築を進めるため、保健、医療、福祉関係者による協議の場を継続し、重層的支援体制の整備による「断わらない相談」を関係機関と連携して行います。</p>

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(2) 社会福祉	④児童・母子・父子福祉	評価
目標 子どもの立場が大切にされる地域をつくります		D
概要 ●子どもが地域で健やかに育つ環境づくりを進めます。		
取組 子どもへの支援の充実 児童虐待の防止 就業支援・子育て支援の充実 子どもの健康保持		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※1	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
1年以上継続してひとり親手当を受給している未就労者数	人	45	30	24	19	32	20	↓	40.0%	×	
児童虐待件数	件	10	11	7	20	7	0	↓	-※2	×	

※1 達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

※2 目標値0により達成率が算出できないため、進捗率『(直近の実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値)』30.0%で点数化しています。

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
6 児童・母子・父子福祉施策	0.210	21.3%	25.5%	19.9%	0.052	Ⅲ
8 福祉医療施策	0.181	23.7%	22.7%	-4.3%	0.044	Ⅲ
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>要保護児童等について、要保護児童対策地域協議会で支援策を協議するとともに、関係団体と連携しながら、面談や訪問、検討会等を行うことで、育児支援及び虐待防止につながっています。</p> <p>2022(R4)年度からひとり親家庭の将来設計をサポートする、ファイナンシャルプランナーによる「ひとり親世帯等家計相談事業」を行いました。将来的に必要な資産等について考えるきっかけとなり、ひとり親世帯の支援につながりました。</p>
課 題	<p>妊娠期からの切れ目ない支援の実施と問題の早期発見等を行うため、児童相談所や医療機関、教育機関などの各機関との連携と役割分担の明確化を図る必要があります。</p> <p>保護者の精神的・経済的問題、DV問題など、いくつもの問題が重なり複雑化しているケースが増えています。</p>
今 後 の 方 針	<p>子どもが地域で健やかに育つ環境づくりを進めるため、子育て支援センターを始めとした各地区の児童館等の充実や、交流、各種講座を通して、子どもの居場所づくりや保護者が相談しやすい環境をつくっていきます。</p> <p>ひとり親家庭の生活の安定と子育ての両立を目指し、経済的支援を含めた総合的な支援を進めます。</p>

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(1) 次世代育成	①子ども支援	評価
目標 地域の関係機関と連携して子どもを育みます		B
概要 ●親からの目線や子どもからの目線、専門的な知見のそれぞれの視点を活かし、低年齢児からの切れ目のない子ども支援を進めます。		
取組 保育環境の充実 子育てを支える環境の充実 保育環境の確保		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
ファミリーサポートセンター会員数	人	309	339	350	335	325	330	↑	98.5%	○	
ファミリーサポートセンター利用者数	人	599	1,271	1,248	834	986	590	→	167.1%	◎	
利用者支援専門員の配置数	人	0	2	3	3	3	5	↑	60.0%	△	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
9 子育てに対する支援	0.242	30.3%	30.2%	-0.4%	0.161	I				
10 保育園など児童施設の整備	0.216	29.9%	28.9%	-3.3%	0.052	III				
※満足度×重要度 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。 </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。 </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。 </td> <td style="padding: 5px;"> <u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。 </td> </tr> </table>							<u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。	<u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。	<u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。	<u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。
<u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。	<u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。									
<u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。	<u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。									

【成果・課題・今後の方針】

成果	<p>総合子育て支援センターや児童館で育児講座などのイベントや相談事業を実施し、子育てに関する困り感や不安感の解消を図っています。また、利用者には専門職による各種相談を受けてもらい、子育て世帯の育児不安を軽減させることができました。</p>
課題	<p>相談事業において、利用者のニーズが幅広いため、広い視野を持ち情報収集をすることが必要であり、病院や民間の事業者等との連携が課題となっています。</p>
今後の方針	<p>多様な子育て支援事業を展開するため、総合子育て支援センターや児童館を地域の居場所とし、日常的に交流がしやすい環境や、身近なところで相談しやすい体制を整備していきます。</p>

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(1) 次世代育成	②学校教育	評価
目標 生きる力を育む、特色ある学校づくりを目指します		C
概要 ●家庭、地域、学校が連携し、豊かな未来をひらく子どもが育つ、特色ある学校づくりを進めます。		
取組 学校教育の充実、教育施設の整備 いじめ・不登校対策の実施 学校生活の支援 学校給食の充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
不登校児童生徒の割合	%	1.36	2.46	2.38	3.15	4.02	1.90	↘	-11.6%	×	
支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率	%	42.2	50.0	42.9	40.4	41.2	50.0	↗	82.4%	○	
学校給食の地産地消率	%	43.0	47.0	52.0	46.0	46.0	50.0	↗	92.0%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
11 小中学校の教育環境	0.186	26.6%	27.8%	4.2%	0.092	I
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童生徒に対する支援員の人数を毎年度増加させ、支援を必要とする児童生徒の多様化への対応や教職員の多忙化解消に寄与してきました。 ・学校給食の献立に、県内産の農作物を意識して取り入れたことで、食育の推進に寄与してきました。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校児童生徒の割合」は、増加傾向にあるため、一人でも多くの児童生徒が学校に通えるよう支援が必要と考えます。 ・「支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率」は、支援員の数は増加していますが、年度により対象となる児童生徒数に増減があるため、配置率が変動することから、支援を必要とする児童生徒に十分な支援ができる体制を整える必要があります。
今 後 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校児童生徒の割合」は、増加傾向にあり、社会情勢等により更なる増加も考えられます。今後も一人一人に寄り添った支援ができるよう現状の体制を維持しつつ、一人でも多くの児童生徒が学校に通えるよう支援を継続していくことが必要と考えます。 ・「支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率」は、支援員の数は増加していますが、年度により対象となる児童生徒数に増減があるため、配置率は変動します。支援を必要とする児童生徒の多様化への対応や教職員の多忙化解消に寄与できるような人的支援の拡充は今後も必要と考えられます。

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(2) 生涯学習	①生涯学習	評価
目標 住民が生涯にわたって学習できる環境を整えます		B
概要 ●誰もが生涯にわたって自由に学び、成果を活かすことができる環境づくりを推進します。		
取組 生涯学習機会の充実 図書館機能・サービスの充実 青少年育成の環境づくり 社会教育施設の整備		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
新規教室・講座参加者率	%	60.7	76.8	76.1	86.0	77.0	75.0	↗	102.7%	◎	
中央図書館の来館者数	人	157,651	125,717	78,428	95,284	111,260	158,000	→	70.4%	△	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
12 青少年健全育成	0.101	17.8%	15.2%	-14.4%	0.020	Ⅳ				
13 生涯学習	0.101	20.7%	16.7%	-19.1%	0.018	Ⅳ				
16 図書館など社会教育施設の充実	0.280	35.7%	36.5%	2.1%	0.029	Ⅲ				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>2022年度に、中央図書館に指定管理者制度を導入しました。町直営では実現が難しかった司書の人員増を実現させ、専門性を活かしたサービスの提供が可能となり、電子書籍の導入やICタグの貼り付け等の図書館のデジタル化を進めることができました。</p>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・新規教室・講座の参加者率は目標値を上回っていますが、受講者が継続してサークル活動などを行っていくところまでは発展していません。 ・電子書籍を導入したものの利用率が上がっていないため、周知に力を入れ利用拡大を図る必要があります。
今 後 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・最初のきっかけづくりとしての教室・講座の開催だけでなく、継続的な学びにつなげていけるような仕組みづくりを検討し実施していきます。 ・タブレットを用意して実際に電子書籍に触れてもらう機会を設けたり、教育現場での活用事例を提供するなど、電子書籍に興味を持ってもらえる取組を行います。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経てオンライン、電子化が進み、実際に図書館に足を運ばなくても本を読める環境も徐々に整備されています。来館者数のみで成果を図ることは適当ではなくなっているため、成果指標の見直しを行います。

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(2) 生涯学習	②スポーツ振興	評価
目標 住民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整えます		C
概要 ●住民それぞれの目的やライフステージに応じて、いつでも気楽にスポーツに親しめるような機会を創出し地域の交流を広げ、住民ネットワークづくり、スポーツ環境の充実を図ります。		
取組 子どもたちの体力向上 高齢者の運動による健康への意識醸成 スポーツ活動団体の育成 スポーツ施設の整備		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
小学5年生の体力テストにおける総合評価(5段階評価)AとBの割合	男子	%	46.9	37.4	-	34.0	31.0	50.0	↑	62.0%	△
	女子	%	50.5	43.1	-	44.0	29.1	53.0	↑	54.9%	×
高齢者への体力テストの実施人数	人	232	168	13	9	-	335	↑	2.7%	×	
町スポーツ協会(旧体育協会)の競技団体登録者数	人	2,837	2,497	2,301	2,389	2,360	2,960	↑	79.7%	△	
学校開放延利用者数	人	85,935	83,155	58,184	65,599	83,907	86,000	↑	97.6%	○	

※達成率は、増加・維持の目標(方向性が↑・→)の場合は『直近の実績値/目標値』、削減の目標(方向性が↓)の場合は『1 - ((直近の実績値/目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点): 100%以上、○(4点): 80%以上100%未満、△(3点): 60%以上80%未満、×(2点): 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
14 スポーツ施設整備	0.002	20.6%	19.3%	-6.6%	0.042	IV
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成果	スポーツ教室は、定員に対する受講者の割合は86%であり、子どもたちの体力向上させることができました。
課題	<p>(1) 高齢者への体力テストの実施人数について、参加人数の伸び悩みがあります。</p> <p>(2) 国、県のスポーツ推進計画に記載のあるすべての人が生涯にわたり、自発的にスポーツに取り組むため、スポーツそのものが有する「楽しさ」「喜び」「自発性」を高める意思を育む機会の提供が必要です。</p>
今後の方針	<p>(1) 高齢者のみに特化した事業を実施していないことから、取組2「高齢者の運動による健康への意識醸成」から、「住民に向けたスポーツ振興」へ変更します。</p> <p>(2) 国、県のスポーツ推進計画に記載のある内容も踏まえ、「小学5年生の体力テストにおける総合評価（5段階評価）AとBの割合」とする成果指標の見直しを検討します。</p> <p>(3) 高齢者への体力テストの実施人数について、2022年度内部評価会議で事業の在り方を検討した結果事業中止となったため、成果指標である「高齢者への体力テストの実施人数」を新たな成果指標へ変更します。</p>

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(2) 生涯学習	③文化振興	評価
目標 郷土の歴史と文化の魅力が感じられるまちを目指します		C
概要 ●郷土の魅力を再認識し、自分たちが住むまちに愛着をもってもらえるような取組を進めます。		
取組 郷土の歴史、文化財の保存・活用 郷土の伝統文化の継承 文化・芸術活動の推進		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
文化協会の会員数	人	530	443	411	405	385	530	→	72.6%		△
郷土資料館の来館者数	人	25,235	24,133	14,974	19,994	19,821	29,000	↗	68.3%		△
東浦ふるさとガイド協会の会員数	人	39	35	35	35	35	40	→	87.5%		○

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
15 文化振興	0.076	19.7%	16.7%	-15.1%	0.023	Ⅳ
※満足度×重要度						
Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。			Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。			
Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。			Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。			

【成果・課題・今後の方針】

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館での企画展や講座の開催を通して住民に郷土の歴史や文化財の魅力を発信することができました。 ・郷土資料館で地域の伝統文化や郷土の魅力を伝えるガイドボランティアの育成や活動支援を行うことができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町の施設の中で郷土資料館の認知度が低く、何をしているか知らない、利用したことがない、という声もあるため、資料館に足を運んでもらうための取組が必要です。 ・東浦ふるさとガイド協会の会員数は現状維持の状況が続いているため、活動を継続させるために新規会員の獲得が必要です。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に興味や関心を持ってもらえるような企画展の開催や、町内の小学生に各地区の文化財紹介動画を作成してもらうことを通じて本人を始め家族にも郷土の文化財と郷土資料館に興味を持ってもらえるよう、取組を進めます。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け施設の休館もあり、また、外出を控える傾向が続いているためか、郷土資料館の来館者数が減少しています。まずは、新型コロナウイルス感染症以前の2017年の来館者数に戻せるよう、目標値を見直します。

3 暮らしを守るまちづくり

(1) 環境	①地球温暖化防止・廃棄物	評価
目標 「もったいない」の気持ちを大切に、循環型のまちをつくれます		B
概要 ●地球温暖化防止や資源の有効活用などの環境問題に対し、住民、事業者、行政が一体となり取り組んでいきます。		
取組 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進 地球温暖化の防止 不法投棄させない環境づくり		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
一人一日あたりの家庭系ごみの量	g	533	473	489	476	469	429	↘	90.7%	○	
リサイクル率	%	20.1	21.2	20.9	21.1	20.7	22.0	↗	94.1%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1－（（直近の実績値／目標値）－1）』で算出し、次のおり点数化しました。

◎（5点）：100%以上、○（4点）：80%以上100%未満、△（3点）：60%以上80%未満、×（2点）：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
17 地球温暖化防止施策	0.033	12.8%	12.2%	-4.9%	0.041	Ⅳ				
18 公害対策	0.052	15.6%	13.6%	-12.5%	0.013	Ⅳ				
19 ごみ減量化・リサイクル活動	0.269	42.2%	41.2%	-2.4%	0.069	Ⅰ				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%"> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%"> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>家庭系可燃ごみ処理有料化を始めたことにより 2019(R1)年度の一人一日あたりの家庭系ごみの量が基準値に比べ 60 g 減少しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による生活様式の変容などの影響などから、家庭系ごみの一時的な増加がみられましたが、プラスチック製容器包装の毎週回収やフードドライブの実施のほか、生ごみ処理・減量方法の紹介など、各種事業に取り組んだ結果、2022(R4)年度は基準値に比べ 64 g の減少をすることができました。</p>
課 題	<p>2022(R4)年度の一人一日あたりの家庭ごみの量は 469 g であり、目標値である 429 g まであと 40 g の減量が必要なため、更なる減量対策が必要です。</p> <p>満足度、重要度共に高い水準ですが、資源ごみをより排出しやすくする方法等を検討し、住民の利便性の向上及び目標に到達していないリサイクル率の向上が必要です。</p> <p>家庭からの温室効果ガス排出量の割合が多いものの、住民の地球温暖化対策に対する意識が低い状況にあるため、住民の地球温暖化対策に対する意識高揚を図る必要があります。</p>
今 後 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で今すぐに行える分別や生ごみの水切りの徹底について、様々な手段で啓発をし、ごみの減量を進めます。 ・常設資源ごみステーション設置や回収品目を増やすなど住民の利便性を高め、リサイクル率の向上につなげます。 ・家庭での地球温暖化対策防止対策支援として、家庭用地球温暖化対策機器設置費補助金・次世代自動車購入費補助金の充実を図り、地球温暖化対策の推進を図ります。

3 暮らしを守るまちづくり

(1) 環境	②自然環境保全	評価
目標 自然と共生したまちをつくります		A
概要 ●人は自然の恵みによって生きていること、自然との調和の中で生きていくことについての再認識を図ります。		
取組 豊かな自然と生活環境の保全活動の推進 外来種対策の推進		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
里山の保全活動に参加する年間延べ人数	人	2,041	2,592	2,154	2,540	2,899	2,350	↑	123.4%	◎	
BOD環境基準達成率(河川)	%	70.0	82.1	89.3	85.7	92.3	100	↑	92.3%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
20 里山など自然環境保全	0.142	28.9%	24.9%	-13.6%	0.066	Ⅱ
※満足度×重要度						
Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。			Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。			
Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。			Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。			

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活動団体の支援し、人数制限を行いつつ、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行ったうえで開催できる活動日を増やすことで、参加者数を増加することができました。 ・里山保全活動団体によるヤギの除草作業及び環境活動リーダー養成講座を行い、住民と里山の自然がふれあえる場として活用してもらうことができました。 ・BOD環境基準達成率（河川）については、町内の河川14箇所でも年2回調査を実施し、水質の監視を行うことができました。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な里山保全活動を継続して行くために、「東浦町自然環境学習の森基本計画」に基づいた実行計画を推進していく必要があります。 ・BOD環境基準達成率（河川）については、生活排水や水田の水の流入などにより、環境基準を超えることがあり、達成率100%を満たすことが困難な場合があることから、達成率等の見直しが必要です。
今 後 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然と生活環境の保全活動の推進については、東浦自然環境学習の森保全・育成の会委員会会議を定期的で開催し、保全活動団体と一緒に里山の保全活動を推進します。 ・行政や保全活動団体が様々な自然環境観察会を行い、住民が自然に触れ、楽しみながら自然環境を学ぶ場づくりを行います。 ・指標の「BOD環境基準達成率（河川）」について、目標達成率、又は指標を見直します。 ・外来種対策の実施など、生物多様性に関する取組を推進します。

3 暮らしを守るまちづくり

(2) 安心安全	①河川・治水	評価
目標 河川改修・雨水施設整備を実施し、水害の危険性を軽減させます		B
概要 ●河川改修や雨水対策を推進し、局地的な豪雨に対しても危険性を軽減し、安心して生活できるまちにします。		
取組 河川の改修 雨水対策の推進 雨水施設の維持管理 ため池保全		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
公共下水道雨水整備率	%	55.6	57.3	57.3	57.3	57.3	62.3	↑	92.0%	○	
雨水貯留浸透施設設置補助金の年間件数	件	12	7	9	2	9	15	↑	60.0%	△	
耐震性を有するため池数	面	16	17	17	18	18	19	↑	94.7%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
21 河川・ため池等の水辺環境	0.015	20.9%	17.7%	-15.5%	0.035	IV
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水ポンプ場の修繕を行うとともに、運転管理を行いました。 ・水路、ポンプ設備等の修繕を行い、排水機能を維持しました。 ・雨水貯留浸透施設は、目標とする年間の設置数には至りませんでした。多くの住民の皆さんのご協力のもと、一般住宅に雨水貯留浸透施設を設置することができました。 ・ため池耐震改修工事は、18池まで耐震化を完了しましたが、工事を行う池の順番を変更したため遅れが生じ、目標値は達成に至りませんでした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した水路やポンプ設備等の更新、ため池の改修工事には、財源確保が必要です。 ・東浦町の整備目標である降雨強度 70mm/時間に満たない水路の計画的な改修が必要です。 ・河川、下水道、海岸などの管理者が主体となってハード対策を実施する従来の対策から、国・県・企業・住民など流域全体のあらゆる関係者が治水対策を実施する必要があります。（洪水を河道内に抑え込む従来の対策だけでは限界があります。）
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の水災害による甚大な被害を受け、あらゆる関係者が協働して流域全体で対応する「流域治水」へ転換するため、取組の成果指標、取組内容を見直します。 ・公共下水道施設の長寿命化及び更新を進めるとともに、現状や関連事業の進捗を考慮し、整備を進めていきます。 ・一般住宅への雨水貯留浸透施設設置は、雨水対策としての事業効果は大きくないものの、事業を継続し、河川水路への流入量の軽減を図ります。 ・従来の対策では河川の氾濫を完全には防げないことを前提に、本町全体で被害を軽減する対策を進めます。また、職員のパトロールや住民等からの河川、水路に関する危険箇所情報を基に、効果的な予防保全対策を実施します。 ・ため池の耐震化は、治水事業として必要であり、県と協議の上、今後も計画を立てて順次進めていきます。

3 暮らしを守るまちづくり

(2) 安心安全	②防災	評価
目標 「自助、互助、共助、公助」が機能する防災意識の高いまちをつくります		B
概要 ●災害時に地域で協力できる防災組織づくりを促進します。 ●災害時の情報伝達手段や避難所などの防災設備が整備され、安心して生活できるまちづくりを推進します。		
取組 防災組織体制の強化 防災・減災対策の充実 災害備蓄品などの充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
同報無線の設置世帯率	%	42.0	41.6	41.9	42.1	41.7	45.4	↑	91.9%	○	
防災リーダー研修受講者数	人	287	318	331	342	355	480	↑	74.0%	△	
備蓄品の充足率	%	86.7	90.1	92.8	93.7	95.3	100	↑	95.3%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1－（（直近の実績値／目標値）－1）』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎（5点）：100%以上、○（4点）：80%以上100%未満、△（3点）：60%以上80%未満、×（2点）：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
22 防災等の安全なまちづくり	0.210	31.3%	28.2%	-10.1%	0.107	I
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災情報の提供手段については、LINE や Yahoo! 防災速報などの多重化を進めており、そのような状況の中で、同報無線（防災ラジオ等）の設置世帯率約 40%は一定の割合で充足出来たものと考えます。 ・ 防災リーダー養成講座の継続開催により、受講者数は少しずつ増加しています。 ・ 備蓄品は、計画的な購入により充足率が向上しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ラジオの普及については、戸別受信機の老朽化や町内の一部で難聴エリアが存在することから、引き続き増産やデジタル化等の検討が必要です。 ・ 防災リーダー養成講座の既受講者へのフォローアップや自主防災組織活動参加等への紐づけが必要です。 ・ 備蓄品については、備蓄計画に基づき、計画的に購入を進めており、町内 4 箇所の拠点防災倉庫を中心に保管されていますが、運搬に時間等を要するため、指定避難所における一定の保管が必要です。 ・ 気候変動等により、自然災害が激甚、頻発化しており、公助には限界があることを前提とした自助・共助など地域防災力の強化が必要です。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、南海トラフ地震の発生危惧とともに、気候変動等により自然災害が荒ぶる中、防災・減災対策における過度な行政（公助）依存から脱却し、主客未分による対策を講じていく必要があります。 ・ 第 1 期基本計画の取組事業は継続実施していくものの、自助・互助・共助・公助の役割分担を明確化し、最大の目的である「命を守ること」にこだわった取組として、見直していくことが必要であると考えます。

3 暮らしを守るまちづくり

(2) 安心安全	③消防・救急	評価
目標 地域全体で消防力の向上を目指します		C
概要 ●消防、救急体制の充実に図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。		
取組 消防体制の強化 初期救急対応の強化 消防水利の維持管理		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
救命講習会などの受講者数	人	2,737	2,367	258	708	1,362	3,000	↑	45.4%	×	
自主防災訓練回数	回	19	19	8	9	14	36	↑	38.9%	×	
消防水利の充足率	%	91.9	92.4	92.6	92.9	93.1	93.6	↑	99.5%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
23 消防・救急対策	0.334	36.4%	32.8%	-9.8%	0.022	Ⅲ
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成果	<p>消防体制の強化として、分団配備の消防車両小型化が完了し、狭あいな場所での消火活動が可能となりました。</p> <p>消防団員数は、2023年4月1日現在216名で、条例定数の221人に対して約97.7%と知多中部広域事務組合管内では1番高い充足率となっています。</p> <p>消防水利については、上下水道課と連携を図りながら消火栓を新設しており、年々充足率が向上しています。</p> <p>防火水槽については、大規模地震災害時の消防水利確保として、私有地の防火水槽用地の計画的な購入や漏水等の修繕を実施するなど適正な維持管理ができています。</p>
課題	<p>消防団員数は高い水準で充足しているものの、協力団員を始めとする高齢化が進み、若年層の加入促進が必要です。</p> <p>救命講習会などの受講者数及び自主防災訓練回数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者数及び訓練回数が大幅に減少した状況であり、今後、自主防災活動と併せて活性化する必要があります。</p> <p>消防水利は高い水準で充足していますが、大規模地震災害時の消防水利として、防火水槽や自然水利のみによる包含も視野に入れる必要があります。</p>
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の消防団加入促進として、町内企業との連携や処遇改善を図る必要があります。 ・救命講習会や自主防災訓練などの初期救急対応の強化については、東浦支署や各自守防災組織と連携を図りながら、開催、周知方法等について検討していきます。 ・消防水利については、引き続き消火栓の新設及び計画的な私有地の防火水槽用地の購入を進め、充足率や災害時対応の向上に努めます。

3 暮らしを守るまちづくり

(2) 安心安全	④交通安全・防犯	評価
目標 交通事故・犯罪のないまちを目指します		B
概要 ●住民の交通安全意識の向上により、交通事故を防止します。 ●地域との連携により、犯罪を抑制します。		
取組 交通安全意識の向上 防犯活動の充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
交通事故発生件数 (人身事故)	件	196	187	155	118	151	140	↓	92.1%	○	
侵入盗認知件数	件	49	24	19	23	22	30	↓	126.7%	◎	
防犯ボランティア 登録者数	人	928	1,017	1,047	1,052	1,103	1,300	↑	84.8%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
24 交通安全対策	0.100	26.7%	25.1%	-5.9%	0.056	Ⅱ
25 防犯対策	0.114	25.2%	22.4%	-11.4%	0.072	Ⅱ
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>毎年青色防犯パトロール講習会を実施し、地域の安全に寄与するパトロール人材を育成するとともに、防犯ボランティア養成アカデミーを県と共催し、防犯ボランティアの養成を行いました。また、広報紙等で防犯ボランティアの募集を行うことで、延べ1,103名の登録となっています。</p>
課 題	<p>近年は、交通事故発生件数（人身事故）のうち自転車の事故が増加してきています。また、交通事故死者の多くを高齢者が占めていることから、意識啓発活動や交通安全教室等を行っていくことが必要です。</p>
今 後 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通安全意識向上のため、町の老人クラブ総会での啓発物品の配付を行います。 ・道路パトロール等により、交通安全施設の予防保全に努め、雑草繁茂の予防として、適宜、雑草対策を実施し、維持管理費用の縮減を図ります。 ・半田警察署から提供される犯罪情報等について、地区に提供し、回覧等での周知を働きかけます。

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備	①市街地・住宅・景観	評価
目標 誰もが暮らしやすいコンパクトなまちをつくります		C
概要 ●生活サービス機能を計画的に配置し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進します。 ●計画的な新市街地の整備や既成市街地の暮らしやすい住環境を形成するため、土地区画整理事業や民間事業者による開発を推進します。		
取組 新市街地の整備 既成市街地の整備 空き家対策 景観形成の充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
市街化区域内の都市的土地利用率	%	86.0	-	-	-	-	87.0	↑	-	-	
鉄道駅・バス停の徒歩圏人口カバー率	%	91.6 (2015)	-	95.1	-	-	95.0	↑	100.1%	◎	
景観重点地区設定数	地区	0	0	0	0	0	2	↑	0.0%	×	
空き家の利活用件数	件	0	2	2	2	2	5	↑	40.0%	×	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
26 住宅・宅地・市街地整備	0.105	28.3%	28.3%	0.0%	0.054	Ⅱ				
27 緒川駅東地区の開発	0.198	28.8%	26.8%	-7.2%	0.013	Ⅲ				
※満足度×重要度 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。 </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。 </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。 </td> <td style="padding: 5px;"> <u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。 </td> </tr> </table>							<u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。	<u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。	<u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。	<u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。
<u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。	<u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。									
<u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。	<u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>東浦町景観計画に基づく大規模行為の届出等業務、東浦町都市計画マスタープランの改定、東浦町空家等対策計画、東浦町地域公共交通計画及び東浦町立地適正化計画の策定並びに土地区画整理事業の推進等の成果により、結果、コンパクトなまちづくりの推進を図る指標「鉄道駅・バス停の徒歩圏人口カバー率」については、目標値を達成している状況です。引き続き、市街化区域内での土地区画整理事業、バス路線の見直し等、居住誘導区域の施策等により目標値を維持していきたいと考えます。</p>
課 題	<p>コンパクトなまちづくりの推進については、成果がある一方で、拠点等（都市機能誘導区域等）の駅周辺等の魅力向上が必要であると考えます。</p> <p>また、空き家の利活用実態を把握することが困難なため、愛知県宅地建物取引業協会と連携して把握できるように改善が必要です。</p> <p>景観まちづくりの推進のために、特徴ある地区を景観重点地区に設定したいと考えていましたが、取組を進めていくと、現状では、景観重点地区の設定よりも、先ず、本町に景観の必要性等を共感してもらうため、より一層の周知・啓発に取り組んでいく必要があると考えています。</p>
今 後 の 方 針	<p>コンパクトなまちづくりを推進するため、市街化区域内の空き家の利活用の促進と未利用地を減らすこととして土地区画整理事業や民間事業者の開発を推進していますが、更なる推進と有効な施策の展開を図るため2022年度末に東浦町立地適正化計画を策定し、計画に位置付けた各施策を推進することが必要であると考えています。</p> <p>景観まちづくりの推進については、現状では、景観重点地区の設定よりも、先ず、本町に景観の必要性等を共感してもらうため、より一層の周知・啓発に取り組んでいく必要があると考えています。そのため、指標「景観重点地区設定数」の見直しを検討する必要があると考えます。</p>

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備	②公園・緑地	評価
目標 地域の実情にあわせた公園の管理運営と緑化の振興を目指します		A
概要 ●人口減少や高齢化の進展など、環境の変化に対応し、適切な公園や公園内施設の整備と緑豊かなまちにするため、緑化を推進します。		
取組 公園の管理運営 緑化の振興		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
協働による維持管理を実施している公園数	公園	0	3	4	16	16	5	↑	320.0%	◎	
住民一人あたりの公園面積	m ²	7.7	7.7	7.7	7.8	7.9	8.0	↑	98.8%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
28 公園・緑地の整備	0.222	32.6%	35.2%	8.0%	0.036	Ⅲ
※満足度×重要度 <u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。 <u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。						
<u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。 <u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>協働による管理運営を実施している公園数については、2021 (R3) 年度に維持管理する公園を地域住民若しくは業者発注に分担する新たな体制としました。2022 (R4) 年度も継続して実施することができました。</p> <p>住民一人当たりの公園面積は、2022 (R4) 年度末に三丁公園の全ての整備が完了したため、2023 (R5) 年度の目標を達成できる見込みです。</p>
課 題	<p>公園施設の老朽化対策や改築・維持管理が課題となっているなか、持続可能な緑のまちづくりとして進めていくため、住民主体による草刈り等を継続的に実施していく必要があります。</p>
今 後 の 方 針	<p>協働による管理運営を実施している公園数の増加を図るため、各地区が年間を通して、より維持管理しやすい管理運営を検討していきます。</p>

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備	③道路	評価
目標 移動しやすく安全な道路網を構築します		A
概要 ●円滑な通行ができるよう、利便性を向上させます。また、幹線道路の整備により通過車両の生活道路への流入を減らすとともに、災害時などにも安全な道路網を構築します。		
取組 幹線道路の整備 生活道路の整備 道路のバリアフリー化 道路施設等の維持管理		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
都市計画道路の整備率	%	47.3	47.3	47.3	47.3	47.3	48.9	↑	96.7%	○	
幅員4m未満道路の改良延長	m	152,846	153,198	153,674	154,053	155,075	154,346	↑	100.5%	◎	
橋梁（きょうりょう）の修繕対策実施率	%	56.0	62.3	65.2	69.6	71.0	71.0	↑	100.0%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎（5点）：100%以上、○（4点）：80%以上100%未満、△（3点）：60%以上80%未満、×（2点）：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
29 幹線道路の整備	-0.11	23.8%	21.3%	-10.4%	0.114	Ⅱ				
30 生活道路の整備	-0.156	23.3%	22.0%	-5.8%	0.135	Ⅱ				
31 歩行環境の整備	-0.252	20.8%	17.3%	-16.5%	0.097	Ⅱ				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市計画道路の整備率」については、道路用地を確保するための地権者への用地買収等の交渉が難航し、事業の進捗を図ることはできませんでした。 ・「幅員4m未満道路の改良延長」については、順調に増加しています。道路用地を取得し、狭あい道路の拡幅を行い、良好な市街地の形成の推進を図るとともに、生活環境の向上に寄与しました。 ・「橋梁の修繕対策実施率」については、目標どおり執行することができました。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備の進捗のため、継続的な地権者との交渉、安定的な財源確保が必要です。 ・後退用地の自己管理を選択されないように、道路用地を取得から整備までの期間短縮と、情報発信（PR）が必要です。 ・橋梁の高齢化が進んでいく状況であり、対策を推進することが重要なものの、技術、財源、人材不足等の課題を抱えています。
今 後 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・中期的な道路整備計画の実施に際し、適宜、進捗状況を把握し、その結果を踏まえて適切に施策を展開していきます。 ・後退用地を取得した箇所の整備を早期に行うことで、近隣住民に整備効果を実感し、用地協力をしたくなるような環境づくりを行います。 ・橋梁の長期保全とともに、安全な道路機能の確保や、構造物のライフサイクルコストの縮減を図るため、定期的な橋梁点検により、早期に損傷を発見し、対策を実施します。また、事業の効率化を図るため、従来工法のみではなく新工法や新材料などの新技術等を加えた比較検討などを実施します。 ・高齢者や障がい者という特定の人に限定せず、全ての人が利用しやすいユニバーサルデザインによる道路空間を実現するため、取組内容を見直します。

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備	④公共交通	評価
目標 移動しやすく交流できるまちを目指します		C
概要 ●地域社会の活力向上、環境負荷の低減、渋滞の解消のため、広域的な交通網の構築に取り組み、公共交通の更なる利便性向上を図ります		
取組 町運行バス「う・ら・ら」の充実 鉄道の利便性の充実 パーク&ライドの取組		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
町運行バス「う・ら・ら」利用者数	人	262,038	240,255	179,539	222,272	247,412	314,000	↑	78.8%	△	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上 100%未満、△(3点)：60%以上 80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
32 公共交通機関、町運行バス	0.015	30.0%	25.6%	-14.8%	0.085	Ⅱ
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年3月より緒川駅をバリアフリー化しており、エレベーターの設置や多目的トイレの整備等を行いました。 ・2022年度の町運行バス「う・ら・ら」の利用者数は247,412人で、2021年度と比較すると、11%増となっています。これは、2021年2月のダイヤ改正の効果の表れだと分析しています。また、公共交通全体の利用促進を図るため、公共交通パンフレットの作成や「う・ら・ら」回数券の共通利用事業を実施しています。これにより、民間バス、タクシー事業者との連携を深めています。また、公共交通パンフレットについては、愛知運輸支局から、公共交通について大変分かりやすく、利用促進が期待できる内容だとの評価をいただいています。
課題	<p>町運行バス「う・ら・ら」については、「使いづらい」「時刻表が分からない」といった声を多く聞きます。引き続き利用促進事業を行い、「う・ら・ら」に対する心理的なハードルを下げる取り組みを実施します。なお、公共交通全体についても、利用促進を行っていますが、民間バス、タクシーの利用増にはまだ結びついていません。</p>
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・町運行バス「う・ら・ら」について、新ダイヤ（2024年10月予定）の周知徹底を図ります。また、引き続き利用促進事業を実施し、利用者の増加を目指します。 ・民間バス、タクシーが抱える運転手不足等の問題にどこまで関われるか、各事業者と情報共有を図りながら、引き続き問題解決に努め、運転手の確保に協力します。 ・パーク＆ライドについては、現状民間駐車場等でまかなわれているため、取組から除外し、実施内容の中で推奨します。

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備	⑤上下水道	評価
目標 安全な水の安定供給、下水道への接続により海や川の水質を保全します		A
概要 ●安定した水の供給を行い、経営の安定化に努めていきます。また、下水道への接続を促進し、水質を保全します。		
取組 水道施設等の維持管理 事業経営の安定化 公共下水道の整備		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
水道管の耐震化率	%	22.5	24.1	24.8	25.6	26.0	25.8	↑	100.8%	◎	
下水道普及率	%	81.9	86.3	86.4	86.6	86.5	83.0	↑	104.2%	◎	
水洗化率	%	80.6	83.6	85.6	86.5	87.0	84.0	↑	103.6%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
33 水の安定供給	0.711	51.8%	58.7%	13.5%	0.019	Ⅲ				
34 下水処理	0.500	45.9%	47.9%	4.4%	0.021	Ⅲ				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管の耐震化については、毎年1%弱を更新し目標値を上回ることができました。 ・下水道普及率、水洗化率共に目標値を上回ることができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した水道管の耐震化、管網整備といった設備投資を行うためには、膨大な経費が必要です。 ・公共下水道未整備の地域は、他の事業との関連事業や河川占用許可が下りないなどの理由があり、整備範囲を広げることが難しく、整備済地域の水洗化率を上げていく必要があります。 ・今後、耐用年数に達する下水道施設を更新していく必要があります。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管（老朽管）の耐震化を継続して進めます。 ・水洗化率の向上を目的とした戸別訪問及びチラシ投函等のPR活動を継続的に進めます。 ・整備が難しい場所について、整備計画の見直しを含めた検討を行います。 ・今後、耐用年数に達する下水道施設の増加が見込まれることから、計画的な更新を行います。 ・既存の下水道施設の維持管理を行います。

4 生活・産業を支える基盤づくり

(2) 産業振興	① 農業振興	評価
目標 農地利用を最適化し、農業の担い手の育つまちをつくります		A
概要 ● 農地の集積・集約化を進め、農業がしやすい環境を整えるとともに、農業の担い手を育成します。 ● 高収益作物などへの転換や6次産業化を推進します。		
取組 経営基盤の強化・整備 農地の利用の最適化の推進 農業経営と新規就農の支援		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
新規就農者年間人数（累計）	人	4	3	7	8	10	5	↑	200.0%	◎	
遊休農地面積	ha	31	21	19	22	28	30	↓	106.7%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のおり点数化しました。

◎（5点）：100%以上、○（4点）：80%以上100%未満、△（3点）：60%以上80%未満、×（2点）：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
35 農業振興対策	0.066	11.0%	10.9%	-0.3%	0.012	IV
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>新規就農者年間人数（累計）は、新規就農者育成総合対策補助金の活用等により、年々増やすことができました。</p> <p>遊休農地面積については、遊休農地への意向利用調査で所有者への理解を深め、保全管理の指導をしたことで減少させることができました。</p>
課 題	<p>遊休農地面積については、目標を達成したものの再び増加傾向にあります。</p> <p>新規就農者を増やせるよう取り組んでいますが、農業者全体数の減少を止めるまでには至っていません。</p> <p>また、そのほかの課題として、基本的に愛知用水の通水が5月から9月までであり、冬季には一部しか供給されず、10月以降の畑作物の栽培には大きな制約となっている状況があります。</p>
今 後 の 方 針	<p>農業者や農業委員等と話し合いを行い、地域計画の目標地図の策定を進め、農地の集積・集約化と遊休農地の解消を促し農業がしやすい環境づくりに取り組むとともに、農業経営力の向上に資する事業や町内の新規就農者を増やせるよう事業に取り組んでいきます。</p>

4 生活・産業を支える基盤づくり

(2) 産業振興	②工業振興	評価
目標 町内企業とともに発展するまちをつくります		B
概要 ●町内に根をはって操業している企業や町内に立地を希望する企業を支援します。		
取組 中小企業の振興 企業の誘致		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
製造業の事業所数	事業所	120	-	116	116	-	140	↗	82.9%	○	
製造業の従業者数	人	5,402	-	5,673	5,926	-	6,300	↗	94.1%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
36 工業振興対策	0.073	9.7%	12.0%	23.6%	0.019	Ⅳ				
39 勤労者福祉・消費者生活対策	0.010	10.4%	10.2%	-2.4%	0.010	Ⅳ				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>2019 (R1) 年度及び 2021 (R3) 年度は、町外から各 1 社が町内に工場を新設し、それぞれに対し企業立地交付金を交付しました。また、2020 (R2) 年度及び 2021 (R3) 年度は、町内の各 1 社が町内に工場を新設し、それぞれに対し企業再投資促進補助金を交付しました。</p> <p>また、町内の小規模事業者等に対し、新型コロナウイルス感染症対策の各種支援のほか、資金融資に係る保証料補助、設備投資に対する補助、人材確保等に要する経費の補助により経営基盤の強化、組織強化を支援しました。</p>
課 題	<p>町として整備できる用地や紹介できる用地があまりないため、事業所数の増加が見込みづらく、また、製造業の工場は省力化や省人化が進みつつあるため、事業所あたりの従業員数の大きな増加もあまり期待できない状況にあります。</p> <p>現在の成果指標は、5年に一度実施の経済センサス活動調査の数値を使用しており、経年比較ができず指標として機能していないため、指標の見直しを検討する必要があると思います。</p>
今 後 の 方 針	<p>現時点では、新たな工場誘致の見通しはありませんが、今後の工場誘致については、法令や都市計画マスタープラン等の土地利用に係る計画に則り、工場立地に適した用地を検討し、企業からの相談があれば、県や関係課と連携を図りながら新規誘致につなげていきます。併せて可能性のある交付金等についても企業へ案内し、誘致を促していきます。</p> <p>また、商工会と連携し、企業の状況把握に努め、企業のニーズや状況に合った補助金の制度設計や既存補助金等支援策の情報提供を行っていきます。</p>

4 生活・産業を支える基盤づくり

(2) 産業振興	③商業振興	評価
目標 町内商店とともに発展するまちをつくります		A
概要 ●大規模店舗、個人商店のどちらも円滑な経営を行えるよう支援します。 ●魅力ある商店と大規模店舗とが共存し、町内外の人のニーズに対応した買い物やサービスを受けることができるまちにします。		
取組 経営支援・経営基盤強化 商業者の育成 駅周辺の活性化		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
卸売業、小売業の事業所数	事業所	278 (2016)	-	-	278	-	280	↑	99.3%	○	
卸売業、小売業の従業者数	人	2,779 (2016)	-	-	3,390	-	2,800	↑	121.1%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。
 ◎（5点）：100%以上、○（4点）：80%以上 100%未満、△（3点）：60%以上 80%未満、×（2点）：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
37 商業振興対策	0.050	13.0%	15.3%	18.1%	0.029	Ⅳ				
39 勤労者福祉・消費者生活対策	0.010	10.4%	10.2%	-2.4%	0.010	Ⅳ				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>卸売業、小売業の事業所数に変化は見られませんが、従業員数は増加しています。</p> <p>2019年の大型商業施設の増床に伴い卸売業、小売業の事業所数、従業員数が増加したと考えますが、卸売業、小売業の事業所数に変化が見られないことから、他の卸売業、小売業の事業所は減少していると推測されます。</p> <p>町内の小規模事業者等に対し、新型コロナウイルス感染症対策の各種支援のほか、資金融資に係る保証料補助、設備投資に対する補助、人材確保等に要する経費の補助により経営基盤の強化、組織強化を支援しました。</p>
課 題	<p>今後、インボイス制度の開始等による新たな経営課題が発生すると思われるため、事業者の状況把握を適切に行っていくことが必要です。</p> <p>現在の成果指標は、5年に一度実施の経済センサス活動調査の数値を使用しており、経年比較ができず指標として機能していないため、指標の見直しを検討する必要があると思います。</p>
今 後 の 方 針	<p>補助金、負担金を通して、小規模事業者等の福利厚生の上昇を推進していくとともに、商工会と連携してセミナーや経営指導等の支援を行っていきます。</p> <p>また、産業まつり等で町内事業者の魅力発信を行い、消費者と事業者をつないでいきます。</p> <p>引き続き、商工会と連携し、事業者の状況把握に努め、事業者のニーズや状況に合った補助金の制度設計や既存補助金等支援策の情報提供を行っていきます。</p>

4 生活・産業を支える基盤づくり

(2) 産業振興	④観光振興	評価
目標 町の魅力を町内外へ発信するとともに、住民が楽しめるまちをつくれます		C
概要 ●各種イベントや特産品などを町内外へ発信するとともに、住民が楽しみ、イベントに参加しやすい取組を進めます。		
取組 観光や物産のPR推進 住民も楽しめる観光の推進		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値				目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023			
於大まつり来場者数	人	13,000	17,000	-	-	6,000	17,000	↑	35.3%	×
観光協会ホームページ年間アクセス数	件	25,021	34,304	31,577	20,750	28,675	36,600	↑	78.3%	△

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
38 観光振興対策	-0.070	9.9%	8.9%	-10.0%	0.018	Ⅳ
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成果	<p>於大まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった時期がありました。が、2022 (R4) 年度には開催することができました。しかしながら、2022 (R4) 年度のまつり来場者数の把握方法が、これまでと異なったため、経年比較ができていません。</p> <p>その他、町では、主に東浦町観光協会へ補助金を交付することで、観光事業の振興を図っており、同団体の活動として、SNSの活用による観光情報の発信や、町の歴史を知ってもらうツアーの実施により、町の魅力を町内外へ発信する取組を進めました。また、町単独ではなく、知多半島5市5町と連携する知多半島観光圏協議会や、刈谷市、知立市、高浜市と連携する衣浦定住自立圏共生ビジョンに基づき、スケールメリットを活かした観光PRにも取り組んできました。</p>
課題	<p>住民も楽しめる観光を推進するため、町を代表するまつりである「於大まつり」などのイベントが住民参加型となるよう、住民や各種団体等の声を反映させるなど密に連携をしていく必要があります。</p> <p>特に2023 (R5) 年は、大河ドラマ「どうする家康」の放送に伴い、徳川家康への関心の高まりに乘じ、徳川家康の生母「於大の方」生誕の地である本町の魅力を町内外へ発信していく好機ではあるものの、PRが十分にできていません。</p>
今後の方針	<p>今後も、主に東浦町観光協会を中心とした取組と、スケールメリットを活かした知多半島観光圏協議会及び衣浦定住自立圏による取組の両輪で情報発信を図っていきます。</p> <p>また、徳川家康の生母「於大の方」生誕の地である町として、2028年の於大の方生誕500年に向けて、於大の方にゆかりのある自治体との連携を深めていきたいと考えています。</p>

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(1) 地域活動	①地域活動	評価
目標 地域に愛着と誇りを持てるまちを目指します		A
概要 ●自分たちの暮らす地域に関心を持って参画し、地域の課題を連携、協力しながら解決するなど地域に愛着と誇りを持てるまちづくりを進めます。		
取組 地域の担い手の確保育成 連携、協力しやすい環境の整備		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
行政の行う事業に連携して活動する目的型組織の団体数	団体	70	70	67	65	81	75	↑	108.0%	◎	
アダプトプログラムの登録団体数	団体	37	42	44	45	48	42	↑	114.3%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
40 行政と協働したまちづくり	0.094	17.3%	16.9%	-2.5%	0.040	IV				
41 地域コミュニティ・住民参加活動	0.148	28.3%	24.9%	-11.8%	0.043	IV				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。 </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。 </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。 </td> <td style="padding: 5px;"> <u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。 </td> </tr> </table>							<u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。	<u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。	<u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。	<u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。
<u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。	<u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。									
<u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。	<u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。									

【成果・課題・今後の方針】

成果	<p>アダプトプログラム登録団体に対し、公共施設の美化、保全活動に必要な物品を支給し、活動を支援することで、制度自体が認識され、住み良いまちづくりに対する住民意識の向上を図ることができました。</p>
課題	<p>コミュニティスクールなど、地区コミュニティと連携、協力し活動する機会が多くなってくるため、コミュニティに対する職員の支援の在り方を再検討する必要があります。</p>
今後の方針	<p>地域課題を解決できる自立したコミュニティの形成を目指し、住民同士が地域活動を協議できる場や、コミュニティ同士の情報交換の場を設けるとともに、人材育成の手助けや財政的な支援等を行います。また、コミュニティ等の地縁組織と積極的に関わり、更に多くの団体とのつながりを形成します。</p>

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(1) 地域活動	②情報共有	評価
目標 情報の発信や受信を的確に行い、開かれた行政を実現します		A
概要 ●情報伝達手段の多様化を踏まえ使いやすく効果的な媒体を通じて、情報の積極的な提供や公開を行うとともに、住民の町政への参画を促進します。		
取組 情報発信の充実 広聴の充実		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
ホームページの年間アクセス数	件	519,169	724,036	1,163,352	1,443,376	1,104,500	546,000	↑	202.3%	◎	
町民の声（住民懇談会の参加者を含む）の年間受信件数	件	171	385	137	113	177	180	↑	98.3%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上100%未満、△(3点)：60%以上80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
42 ホームページ・情報公開の充実度	0.238	24.7%	31.9%	29.0%	0.019	Ⅲ
<p>※満足度×重要度</p> <p><u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> <p><u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> <p><u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> <p><u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>ホームページの年間アクセス数の目標は達成しました。ホームページの改修や広報紙から二次元コードを活用した誘導を行ってきたことの効果が表れたものと考えています。</p> <p>また、町民の声の実績においては新型コロナウイルス感染拡大により、住民懇談会を中止したことに伴う実績の伸び悩みがみられましたが、2022年度から再開することで引き続き、住民からの意見広聴の場を提供しています。</p>
課 題	<p>広報について、情報伝達手段の多様化を踏まえつつ、広報紙の配布方法を整理する必要があります。</p> <p>広聴方法について、見直しを行う必要があります。</p>
今 後 の 方 針	<p>行政情報や地域情報を住民に提供するため引き続き「広報ひがしうら」の発行を行います。</p> <p>迅速な情報提供を実現するためホームページやSNSの内容充実を図ります。</p> <p>住民からの意見や要望を幅広い年齢層から聴取し、公開することで課題の共有を図ります。</p>

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(1) 地域活動	③共生	評価
目標 誰もが認め合い、ともに生きる社会をつくれます		B
概要 ●国籍、性別などに関係なく、誰もが互いを尊重し、ともに生きる社会の実現を目指します。		
取組 多文化共生の理解促進 多様な生き方の尊重		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
日本語教室の平均参加者数	人	10	16	14	13	12	15	↑	80.0%	○	
各種委員会の女性委員比率	%	30.6	27.0	27.0	28.0	28.0	40.0	↑	70.0%	△	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↑・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↓）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
43 国際化、外国人に対する取り組み	0.051	11.7%	11.0%	-6.0%	0.026	IV
※満足度×重要度 <u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。 <u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。						
<u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。 <u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。						

【成果・課題・今後の方針】

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室を開催し、外国人住民等の日本語学習を支援しました。（にほんごひろば、子どもにほんごひろばに加え、2021年度からは日曜日にほんごひろばを開催しています。） ・日本語ボランティア養成講座を開催し、日本語教室等で活動していただく日本語ボランティアを養成しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近年はベトナム人住民が増加しており、ブラジル人住民に次いで2番目に多くなっていますが、ポルトガル語、英語・タガログ語に比べて多言語での対応が進んでいません。 ・各種委員会の女性委員比率は基準値に達していません。徐々に女性委員が登用されてきていますが、今後も女性の活躍を促進する事業に取り組むことが必要です。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・近年はベトナム人住民が増加しており、ブラジル人住民に次いで2番目に多くなっています。ベトナム人住民への多言語対応についても検討する必要があります。 ・外国人住民の動向を注視しつつ、情勢に適した施策を探っていきます。 ・引き続き男女共同参画に係る啓発活動を実施するとともに、性的マイノリティの理解促進に資する取組を検討します。

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(2) 行財政運営	①行政運営	評価
目標 環境の変化や住民ニーズに対応した柔軟な行政運営を目指します		D
概要 ●社会情勢や住民ニーズの変化に対応するため、地域が抱える課題を把握し、前例にとらわれず必要な施策を行うことで、住民が満足できる柔軟な行政運営を目指します。		
取組 変化に対応できる行政運営		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
総合計画の進行管理のために設定した指標の達成割合	%	-	-	23	29	34	100	↗	34.0%		×

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点)：100%以上、○(4点)：80%以上 100%未満、△(3点)：60%以上 80%未満、×(2点)：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
44 役場の窓口など行政サービス	0.343	48.8%	42.3%	-13.3%	0.064	I				
47 情報通信技術を活用したサービス	0.030	17.0%	15.3%	-9.7%	0.025	IV				
48 日常生活の便利度	0.258	37.6%	41.5%	10.4%	0.160	I				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>第6次東浦町総合計画第1期基本計画のスタートに合わせ、総合計画の進行管理ツールとして位置づけている行政評価（施策評価シート及び事業評価シート）の様式を予算との連動を意識したものへと刷新しました。また、事業評価の作成単位についても、予算との連動を意識して予算小事業単位とすることで、実施計画、予算、執行、行政評価のPDCAサイクルに向けた体制を整備することができました。</p>
課 題	<p>実施計画、予算、執行、行政評価のPDCAサイクルに向けた体制については整備が進んでいますが、成果指標の目標値と予算の連動についてマネジメントが完全ではありません。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症による社会経済情勢の変化や、予算投入後の成果の発現までのタイムラグによる影響と考えていますが、引き続き要因を追跡・分析していく必要があります。</p>
今 後 の 方 針	<p>新型コロナウイルス感染症により、人々は都市封鎖、在宅勤務・学習など、今までにない経験を積み、それに伴い生まれた新しいコミュニケーションやコラボレーションのツールやシステムの登場により、当たり前だと思われてきた常識が激変しました。</p> <p>アフターコロナの現在は、新しい生活様式や従来にないビジネス、これまで気づけなかった新しい価値観が登場しており、行政運営もこれらの変化に対応していかなければなりません。生成AIやIoTの活用や、それを使いこなせる人材育成を進め、社会経済情勢の変化や多様化する住民ニーズに対応できる行政運営に取り組んでいきます。</p>

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(2) 行財政運営	②財政運営	評価
目標 将来を見据えた持続可能な財政の運営をします		A
概要 ●これからも便利で活気のある東浦町とするため、税収の減、社会保障費の増、公共施設の維持管理費の増といった様々な問題に対処します。		
取組 健全財政の維持		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率
		2017	2019	2020	2021	2022	2023			
経常収支比率※ ¹	%	82.8	85.0	84.8	84.7	86.6	87.0	↗	100.5%	◎
実質公債費比率※ ²	%	1.4	0.5	0.0	-0.4	-0.1	3.0	↗	203.3%	◎

※1及び※2については、目標値を閾値（しきいち。境界点や限界点を指す。）としています。高齢化による社会保障費等の増加が見込まれることから方向性を増加（↗）としていますが、実績値の増加は財政の圧迫を意味するため、達成率は削減の目標（方向性が↘）で使われる数式『 $1 - ((\text{直近の実績値} / \text{目標値}) - 1)$ 』を使い、次のとおり点数化しています。

◎（5点）：100%以上、○（4点）：80%以上 100%未満、△（3点）：60%以上 80%未満、×（2点）：60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
45 健全な財政運営	0.096	20.0%	16.7%	-16.4%	0.070	Ⅱ
※満足度×重要度						
Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。			Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。			
Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。			Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。			

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>経常収支比率については、扶助費等の社会保障関連経費が増加する中で、効率的な財政運営に努めた結果、目標値内に収めることができました。</p> <p>実質公債費比率については、借入額が償還額を下回るような運用に努め、新規の借入れを抑制した結果、目標値を大きく下回ることができました。</p> <p>このことから、健全な財政状況の確保ができました。</p>
課 題	<p>今後、公共施設の更新、インフラ整備等の経費の増加に伴い、地方債の発行額も増加することが予想されます。また、昨今のエネルギー価格や物価の高騰の影響により経常経費の増加が見込まれるため、引き続き、自主財源の確保や既存事業の見直しが必要です。</p>
今 後 の 方 針	<p>東浦町公共施設再配置計画の策定に合わせて同計画に対応した財政措置を考えていくと共に引き続き健全な財政運営に努めます。</p>

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(2) 行財政運営	③連携協力	評価
目標 行政の効率化とまちの活性化を目指します		A
概要 ●他自治体や大学などとの積極的な連携により、行政の高度化、複雑化した課題に対応し、行政の効率化とまちの活性化を図ります。		
取組 他自治体との連携の推進 大学などとの連携の強化		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
相互利用が可能な他市町村の公共施設数	施設	113	115	114	115	114	120	↗	95.0%	○	
連携・協力の協定を締結する大学との連携延べ事業数	件	5	6	7	10	13	10	↗	130.0%	◎	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※
		2017	2022	満足 変化率		
46 近隣市町との広域連携	0.056	18.6%	16.3%	-12.3%	0.036	Ⅳ
※満足度×重要度 <u>Ⅱ 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。 <u>Ⅳ 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u> 住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。						
<u>Ⅰ 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u> 住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。 <u>Ⅲ 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u> 施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。						

【成果・課題・今後の方針】

成 果	<p>他機関との連携による行政の効率化とまちの活性化に向け、2019年度から2022年度までの4年間で4機関と包括連携協定を締結しました。その他にも、個別分野の協定や覚書を複数締結し、他機関との連携を積極的に進めることができました。</p> <p>連携の実績として、名古屋大学環境学研究科による、ため池の利活用や里山の保全に関するORT（オンサイド・リサーチ・トレーニング）や、郊外団地の持続可能性に関する調査研究が本町を対象に行われ、高度化・複雑化する行政課題の解決に向けた知見が得られました。</p>
課 題	<p>他自治体や他機関との連携については新たな連携協定の締結などにより着実に進展していますが、中には協定や覚書を締結したものの、想定していた実績が上がっていないものもあります。</p> <p>また、他市町村の公共施設については、施設の統廃合が進みつつあり、相互利用が可能な公共施設を増加させることが難しい状況です。</p>
今 後 の 方 針	<p>第6次東浦町総合計画第1期基本計画から方針に変更はありません。引き続き、他自治体や他機関との連携を強化して行政の効率化とまちの活性化を目指します。</p>

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(2) 行財政運営	④公共施設マネジメント	評価
目標 将来に向け公共施設等を適切に管理、運営します		B
概要 ●東浦町が保有する資産について、活用方法や管理運営形態の見直しを行いながら、適切に管理、運営します。		
取組 公共施設等の管理、運営		

【取組の成果指標の達成率】

指標	単位	基準値	実績値					目標値	方向性	達成率※	
		2017	2019	2020	2021	2022	2023				
公共施設(建物)の延床面積	m ²	132,500	133,900	133,900	133,900	133,900	132,500	↘	98.9%	○	

※達成率は、増加・維持の目標（方向性が↗・→）の場合は『直近の実績値／目標値』、削減の目標（方向性が↘）の場合は『1 - ((直近の実績値／目標値) - 1)』で算出し、次のとおり点数化しました。

◎(5点) : 100%以上、○(4点) : 80%以上 100%未満、△(3点) : 60%以上 80%未満、×(2点) : 60%未満

【住民意識調査】

項目	満足度	満足・やや満足の割合			重要度	満足度 × 重要度※				
		2017	2022	満足 変化率						
44 役場の窓口など行政サービス	0.343	48.8%	42.3%	-13.3%	0.064	I				
48 日常生活の便利度	0.258	37.6%	41.5%	10.4%	0.160	I				
<p>※満足度×重要度</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p> </td> <td style="width:50%; padding: 5px;"> <p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p> </td> </tr> </table>							<p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>	<p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>
<p><u>II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。</p>	<p><u>I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。</u></p> <p>住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。</p>									
<p><u>IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。</u></p> <p>住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。</p>	<p><u>III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。</u></p> <p>施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。</p>									

【成果・課題・今後の方針】

成果	<p>大規模災害被害時に対応できる備蓄品や防災資機材の確保が十分でなかったことから、2016(H28)年度に西部防災倉庫、2017(H29)年度に役場東防災倉庫を新設しています。そのため、公共施設の延床面積が増加しています。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設を将来にわたり持続させるため、財源の確保を検討するとともに、施設の統廃合・複合化による延床面積の縮減を行う必要があります。 ・ 施設の長寿命化を図り、更新費用の軽減を図る必要があります。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の再編について検討を進め、将来にわたって持続可能な公共施設の実現を目指すため、公共施設再配置計画を策定します。 ・ 町が保有する低未利用施設等について利活用や貸付、売却等を検討し、財源の確保を図ります。

第5章 参考資料（施策別総括評価一覧表）

1 いっまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(1) 健康

①健康づくり

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
特定保健指導終了率	108.3%	◎	▲ 347.6%	1 健康づくり・疾病対策	0.453	0.063	I
メタボ該当率	76.8%	△	▼ -377.8%	2 保健施設・医療機関等の整備	0.333	0.101	I
特定健診受診率	81.3%	○	▼ -346.2%	7 健康保険制度	0.266	0.049	III

(2) 社会福祉

①地域福祉

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
ボランティア等登録団体数	119.0%	◎	▲ 195.0%	3 地域福祉施策	0.229	0.032	III
居場所の拠点数	103.3%	◎	▲ 110.0%				

②高齢者福祉

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
認知症サポーター養成講座受講者延べ人数	98.0%	○	▲ 96.4%	4 高齢者福祉施策	0.174	0.172	I
「老人憩の家」の利用者延べ人数	71.6%	△	▼ -390.5%				

③障がい者（児）福祉

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
グループホーム利用者数	96.3%	○	▲ 86.7%	5 障がい者福祉施策	0.139	0.033	IV
就労支援系サービス利用日数	139.1%	◎	▲ 2456.1%	8 福祉医療施策	0.181	0.044	III
施設入所者の地域生活への移行者数	133.3%	◎	▲ 150.0%				
「地域活動支援センター事業」の実利用者数	633.3%	◎	▲ 6500.0%				

④児童・母子・父子福祉

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
1年以上継続してひとり親手当を受給している未就労者数	40.0%	×	■ 52.0%	6 児童・母子・父子福祉施策	0.210	0.052	III
児童虐待件数【目標値0のため進捗率で点数化】	解なし	×	■ 30.0%	8 福祉医療施策	0.181	0.044	III

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(1) 次世代育成

①子ども支援

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
ファミリーサポートセンター会員数	98.5%	○	■ 76.2%	9 子育てに対する支援	0.242	0.161	I
ファミリーサポートセンター利用者数	167.1%	◎	▼ -4300.0%	10 保育園など児童施設の整備	0.216	0.052	III
利用者支援専門員の配置数	60.0%	△	■ 60.0%				

②学校教育

取組の成果指標	達成率*1	評価	【**】進捗率*2	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分*3
不登校児童生徒の割合	-11.6%	×	▲ 492.6%	11 小中学校の教育環境	0.186	0.092	I
支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率	82.4%	○	▼ -12.8%				
学校給食の地産地消率	92.0%	○	■ 42.9%				

(2) 生涯学習

①生涯学習

取組の成果指標	達成率*1	評価	【**】進捗率*2	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分*3
新規教室・講座参加者率	102.7%	◎	▲ 114.0%	12 青少年健全育成	0.101	0.020	IV
中央図書館の来館者数	70.4%	△	▼ -13292.6%	13 生涯学習	0.101	0.018	IV
				16 図書館など社会教育施設の充実	0.280	0.029	III

②スポーツ振興

取組の成果指標	達成率*1	評価	【**】進捗率*2	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分*3
小学5年生男子の体力テストにおける総合評価（5段階評価）AとBの割合	62.0%	△	▼ -512.9%	14 スポーツ施設整備	0.002	0.042	IV
小学5年生女子の体力テストにおける総合評価（5段階評価）AとBの割合	54.9%	×	▼ -856.0%				
高齢者への体力テストの実施人数	2.7%	×	▼ -216.5%				
町スポーツ協会（旧体育協会）の競技団体登録者数	79.7%	△	▼ -387.8%				
学校開放延利用者数	97.6%	○	▼ -3120.0%				

③文化振興

取組の成果指標	達成率*1	評価	【**】進捗率*2	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分*3
文化協会の会員数	72.6%	△	解なし	15 文化振興	0.076	0.023	IV
郷土資料館の来館者数	68.3%	△	▼ -143.8%				
東浦ふるさとガイド協会の会員数	87.5%	○	▼ -400.0%				

3 暮らしを守るまちづくり

(1) 環境

①地球温暖化防止・廃棄物

取組の成果指標	達成率*1	評価	【**】進捗率*2	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分*3
一人一日あたりの家庭系ごみの量	90.7%	○	■ 61.5%	17 地球温暖化防止施策	0.033	0.041	IV
リサイクル率	94.1%	○	■ 31.6%	18 公害対策	0.052	0.013	IV
				19 ごみ減量化・リサイクル活動	0.269	0.069	I

②自然環境保全

取組の成果指標	達成率*1	評価	【**】進捗率*2	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分*3
里山の保全活動に参加する年間延べ人数	123.4%	◎	▲ 277.7%	20 里山など自然環境保全	0.142	0.066	II
BOD環境基準達成率（河川）	92.3%	○	■ 74.3%				

(2) 安心安全

①河川・治水

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
公共下水道雨水整備率	92.0%	○	25.4%	21 河川・ため池等の水辺環境	0.015	0.035	IV
雨水貯留浸透施設設置補助金の年間件数	60.0%	△	-100.0%				
耐震性を有するため池数	94.7%	○	66.7%				

②防災

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
同報無線の設置世帯率	91.9%	○	-8.8%	22 防災等の安全なまちづくり	0.210	0.107	I
防災リーダー研修受講者数	74.0%	△	35.2%				
備蓄品の充足率	95.3%	○	64.7%				

③消防・救急

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
救命講習会などの受講者数	45.4%	×	-522.8%	23 消防・救急対策	0.334	0.022	III
自主防災訓練回数	38.9%	×	-29.4%				
消防水利の充足率	99.5%	○	70.6%				

④交通安全・防犯

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
交通事故発生件数(人身事故)	92.1%	○	80.4%	24 交通安全対策	0.100	0.056	II
侵入盗認知件数	126.7%	◎	142.1%	25 防犯対策	0.114	0.072	II
防犯ボランティア登録者数	84.8%	○	47.0%				

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備

①市街地・住宅・景観

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
市街化区域内の都市的土地利用率	実績値なし	-	実績値なし	26 住宅・宅地・市街地整備	0.105	0.054	II
鉄道駅・バス停の徒歩圏人口カバー率	100.1%	◎	102.9%	27 緒川駅東地区の開発	0.198	0.013	III
景観重点地区設定数	0.0%	×	0.0%				
空き家の利活用件数	40.0%	×	40.0%				

②公園・緑地

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
協働による維持管理を実施している公園数	320.0%	◎	320.0%	28 公園・緑地の整備	0.222	0.036	III
住民一人あたりの公園面積	98.8%	○	66.7%				

③道路

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
都市計画道路の整備率	96.7%	○	0.0%	29 幹線道路の整備	0.110	0.114	II
幅員4m未満道路の改良延長	100.5%	◎	148.6%	30 生活道路の整備	0.156	0.135	II
橋梁(きょうりょう)の修繕対策実施率	100.0%	◎	100.0%	31 歩行環境の整備	0.252	0.097	II

④公共交通

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
町運行バス「う・ら・ら」利用者数	78.8%	△	-28.1%	32 公共交通機関、町運行バス	0.015	0.085	II

⑤上下水道

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
水道管の耐震化率	100.8%	◎	106.1%	33 水の安定供給	0.711	0.019	III
下水道普及率	104.2%	◎	418.2%	34 下水処理	0.500	0.021	III
水洗化率	103.6%	◎	188.2%				

(2) 産業振興

①農業振興

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
新規就農者年間人数(累計)	200.0%	◎	600.0%	35 農業振興対策	0.066	0.012	IV
遊休農地面積	106.7%	◎	300.0%				

②工業振興

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
製造業の事業所数	82.9%	○	-20.0%	36 工業振興対策	0.073	0.019	IV
製造業の従業者数	94.1%	○	58.4%	39 勤労者福祉・消費者生活対策	0.010	0.010	IV

③商業振興

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
卸売業、小売業の事業所数	99.3%	○	0.0%	37 商業振興対策	0.050	0.029	IV
卸売業、小売業の従業者数	121.1%	◎	2909.5%	39 勤労者福祉・消費者生活対策	0.010	0.010	IV

④観光振興

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
於大まつり来場者数	35.3%	×	-175.0%	38 観光振興対策	0.070	0.018	IV
観光協会ホームページ年間アクセス数	78.3%	△	31.6%				

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(1) 地域活動

①地域活動

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【**】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
行政の行う事業に連携して活動する目的型組織の団体数	108.0%	◎	220.0%	40 行政と協働したまちづくり	0.094	0.040	IV
アダプトプログラムの登録団体数	114.3%	◎	220.0%	41 地域コミュニティ・住民参加活動	0.148	0.043	IV

②情報共有

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【 ^{*1} 】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
ホームページの年間アクセス数	202.3%	◎	▲ 2181.5%	42 ホームページ・情報公開の充実度	0.238	0.019	III
町民の声（住民懇談会の参加者を含む）の年間受付件数	98.3%	○	■ 66.7%				

③共生

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【 ^{*1} 】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
日本語教室の平均参加者数	80.0%	○	■ 40.0%	43 国際化、外国人に対する取り組み	0.051	0.026	IV
各種委員会の女性委員比率	70.0%	△	▼ -27.7%				

(2) 行財政運営

①行政運営

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【 ^{*1} 】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
総合計画の進行管理のために設定した指標の達成割合	34.0%	×	■ 34.0%	44 役場の窓口など行政サービス	0.343	0.064	I
				47 情報通信技術を活用したサービス	0.030	0.025	IV
				48 日常生活の便利度	0.258	0.160	I

②財政運営

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【 ^{*1} 】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
経常収支比率	100.5%	◎	▲ 90.5%	45 健全な財政運営	0.096	0.070	II
実質公債費比率	203.3%	◎	▼ -93.8%				

③連携協力

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【 ^{*1} 】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
相互利用が可能な他市町村の公共施設数	95.0%	○	■ 14.3%	46 近隣市町との広域連携	0.056	0.036	IV
連携・協力の協定を締結する大学との連携延べ事業数	130.0%	◎	▲ 160.0%				

④公共施設マネジメント

取組の成果指標	達成率 ^{*1}	評価	【 ^{*1} 】進捗率 ^{*2}	住民意識調査項目	満足度	重要度	区分 ^{*3}
公共施設（建物）の延床面積	98.9%	○	解なし	44 役場の窓口など行政サービス	0.343	0.064	I
				48 日常生活の便利度	0.258	0.160	I

※1 目標値を100%としたときに直近の実績値がどれだけ達成できているかを表します。【達成率計算式】のとおりに算出し、『◎(5点):100%以上、○(4点):80%以上100%未満、△(3点):60%以上80%未満、×(2点):60%未満』とおりに点数化しました

【達成率計算式】増加・維持の目標『直近の実績値/目標値』

削減の目標『1 - ((直近の実績値/目標値) - 1)』

分母(目標値)が0の場合は『解なし』とし、進捗率^{*2}で点数化しています。

※2 達成率の補足として、目標値に対しての進み具合や遅れ具合を表しています。設定した目標値や基準値によっては数値が大きくなる(小さくなる)ことがあるため【参考】としています。

【進捗率計算式】『(直近の実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値)』

分母(目標値 - 基準値)が0の場合は、『解なし』としています。

※3 満足度×重要度についての4つの区分を表しています。

II 住民満足度が低く、住民重要度は高い。

住民ニーズに取組が応えられておらず、取組の見直しの検討が必要。

I 住民満足度が高く、住民重要度も高い。

住民ニーズに取組が応えられており、継続した取組が求められている。

IV 住民満足度が低く、住民重要度は低い。

住民ニーズの把握に努め取組の改善を図ることが必要。

III 住民満足度が高く、住民重要度は低い。

施策内容の効率化を図りつつ、継続的な取組が期待されている。